

『蝦夷島奇観』写本の研究 (二)

東 俊佑

Key Words

蝦夷島奇観 (Ezogashima Kikan)、秦檎丸・檣麿 (Hata Awakimaru, Awakimaru)、村上島之允 (Murakami Shimanojo)、アイヌ絵 (Ainu-e)、アイヌ風俗画 (Ainu genre painting)

はじめに

本稿は、1799 (寛政11) 年に成立し⁽¹⁾、その後幾度の増補改訂を重ね、1807 (文化4) 年に完成したとされる秦檎丸 (村上島之允) 作製の蝦夷地紀行画集『蝦夷島奇観』⁽²⁾ (国指定重要文化財、東京国立博物館所蔵、以下「東博本」と表記) の写本の資料調査の調書であり、昨年度に公表した拙稿 (東 2024) に続くものである。

『蝦夷島奇観』写本は、日本国内の資料所蔵機関を中心に、少なくとも65件以上現存していると想定されている⁽³⁾。本稿は、そのうち筆者が2023・24 (令和5・6) 年度に調査したなかの一部である10件 [国立アイヌ民族博物館、国 (文化庁 (国立アイヌ民族博物館) 保管のもの)、國學院大學図書館 (國學院大學北海道短期大学部保管のもの) 所蔵のもの] について報告するものである。

凡例

- ・筆者が調査した資料の調書を帳票形式で示した。本稿では、調査番号12~21の10件を取り上げた。
- ・調書作成に際しては、『蝦夷島奇観』の完成形とされる東博本を分析の基準とした。150頁の表「東博本の構成と画題」は、東博本収録の137の場面を整理したものである。各場面の画題は料紙に示されるものと各巻冒頭の目録に示されるものの2者を示した。なお、東博本の「六 熊祭部」には、白紙の料紙が冒頭に1枚含まれている (番号59・6-1)。本稿では、これも一つの場面として含め通番と巻番を仮に付した。
- ・本文中の〔 〕内は、筆者が付加した内容であることを示す。
- ・「資料名」欄には、原則として資料所蔵館が付した名称を示した。
- ・「形態」欄には、卷子本、折本、冊子本など資料の形態を示した。
- ・「所蔵番号」欄には、所蔵館における整理番号、請求番号などを示した。
- ・「調査番号」欄には、筆者による整理番号を示した。

- ・「法量」欄の法量の記載は、縦×横 (×高さ) の順に示した。
- ・「構成」欄は、資料の形態により示し方を変えている。卷子本の場合は料紙ごとに示し、料紙1枚の横の法量を示した。折本や冊子本の場合は、見開き時 (展開時) の状態の丁番を示した。
- ・「場面番号と画題」欄には、出てくる順番どおりに仮番号を付し、画題を示した。料紙に画題が示されている場合はそのまま、画題がない場合や独自の画題などの場合は、東博本などを参考に筆者が〔 〕で示した。
- ・「絵」「詞書」欄には、各場面における有無を示した。例えば、一つの場面中に絵、詞書の両方の描写があれば、両欄に「○」を付けた。「詞書」については、単なる画題表記などの場合には「×」とし、たとえ短文であっても説明のあるものは「○」とした。
- ・「東博本」欄には、当該場面の東博本における巻番号を示した (巻番号は150頁の表に基づく)。絵や詞書の内容が東博本と懸隔していても、類似の場面であれば巻番号を示した。東博本にはない場面の場合は、「×」と記し、そのセルを20%グレーで示した。
- ・「備考」欄は、各場面の特徴や東博本との相違点などを記した覚書である。人物の顔や髪、衣服の文様、輪郭線、詞書の文言や行立ての相違など、写本間で一般に見られる事象については煩雑さを避けるため採録しなかった。今後の研究の進展につれ、遺漏や誤認などが発見される可能性は十分あるが、分析の促進のためには敢えて示すことも必要と判断し、間違いを恐れず示すこととした。
- ・「摘要」欄は、資料の体裁の特徴、内容の特徴、その他気付いたことなどを整理したものである。
- ・本文中の「/」は改行であることを示す。
- ・本文中の〈3巻本構成の模写本〉とは、主に幕末期以降に作製・模写された3巻構成を基本とする模写本のことを指す。佐々木利和が「三冊本ないしは三巻本構成の諸本」とするものであり、佐々木は「一、女神窟居、男夷、女夷、女夷文手、サバウンペ、シトキ、イナヲ、ラッコ、オンカミ、其二、其三、其四 (女礼) / 二、近蝦夷地居家、西夷地居家、家内、弓矢鞆、アマクウ、マチコル、飲酒、タフカリ、ウカリ稽古、ウカリ真行、ニヨエン、カ、モセキナ、カ写生、サイモン / 三、膾膾膾の部、イヨマンテの部」の構成をもつものとする (谷澤・佐々木編 1982 : 237)。

東博本の構成と画題

※アイヌ語表記に見られる促音、拗音を示す傍線表示は「ニカツプ」→「ニカッパ」、「シヤ」→「シャ」などと置き換えた。

通番	巻番	部	画題 (料紙)	画題 (目録)
1	1-1	一 古説部	(序)	一
2	1-2	一 古説部	(古説部目録)	古説部
3	1-3	一 古説部	蝦夷諸島図	蝦夷諸島図
4	1-4	一 古説部	(造島神図)	造島神 (コルモシリカモイ) 図
5	1-5	一 古説部	女神窟居図	女神窟居図
6	1-6	一 古説部	(女神窟居説)	同説
7	1-7	一 古説部	(男夷図)	男夷図
8	1-8	一 古説部	(女夷図)	女夷図
9	1-9	一 古説部	シャバウベ	シャバウベ図
10	1-10	一 古説部	女夷文手図	女夷文手図
11	1-11	一 古説部	女夷文手説	同説
12	1-12	一 古説部	シトキ図	シトキ図
13	2-1	二 礼部	(礼部目録)	礼部
14	2-2	二 礼部	拝礼図	ランカミ図
15	2-3	二 礼部	其二 (ランカミ図其二 (列座))	其二
16	2-4	二 礼部	其三(ランカミ図其三(ウリリ))	其三
17	2-5	二 礼部	其四(ランカミ図其四(女夷礼))	其四
18	2-6	二 礼部	病衆	タシュニクル図
19	2-7	二 礼部	(ヲチュエ図 (葬礼図))	ヲチュエ図
20	2-8	二 礼部	(ヲチュエ図其二 (家焼却))	其二
21	2-9	二 礼部	(ヲチュエ図其三 (メッカウチ))	其三
22	2-10	二 礼部	男夷墓・女夷墓	墓図
23	2-11	二 礼部	西夷地墓	西夷地墓図
24	3-1	三 礼部	(婚礼飲酒法制部目録)	婚礼飲酒法制部
25	3-2	三 礼部	マチコル (婦造) 図	マチコル図
26	3-3	三 礼部	(マチコル説)	同説
27	3-4	三 礼部	(飲酒図)	飲酒図
28	3-5	三 礼部	(タフカリ図)	タフカリ図 ※目録では鼓絃図の順
29	3-6	三 礼部	カ写生	カ写生図
30	3-7	三 礼部	(鼓絃図) ※(力演奏図)、ランヌマニ写生、モセキナ写生の3つの絵あり	鼓絃図 ※目録ではタフカリ図の順
31	3-8	三 礼部	ウカリ稽古図	ウカリ稽古図
32	3-9	三 礼部	(ウカリ真行図)	同真行図
33	3-10	三 礼部	(ニヨエン図)	ニヨエン図
34	3-11	三 礼部	(サイモン図)	サイモン図
35	4-1	四 居家部	(居家部目録)	居家部
36	4-2	四 居家部	近蝦夷地居家図	近蝦夷地居家図
37	4-3	四 居家部	西夷地居家図	西夷地居家図
38	4-4	四 居家部	(家器宝械図)	家器宝械図
39	4-5	四 居家部	古椀 (フシコイタンキ) 図	古椀図
40	4-6	四 居家部	(ニカッパを剥図)	ニカッパを剥図
41	4-7	四 居家部	アッドシカル図	アッドシカル図
42	4-8	四 居家部	ニカッパ枝葉写生	ニカッパ枝葉写生
43	4-9	四 居家部	カナチ チミップ アヤシノカル図 (女児衣服文造図)	アヤシノカル図
44	5-1	五 器械部	(器械部目録)	器械部
45	5-2	五 器械部	ベラシトミカモイ	ヘラシトミカモイ図
46	5-3	五 器械部	ベラシトミカモイ写生	同写生
47	5-4	五 器械部	(イナホ図)	イナホ図
48	5-5	五 器械部	(エモシ図)	エモシ図
49	5-6	五 器械部	アヨッパ	アヨウヘ図
50	5-7	五 器械部	チャヤシ図	チャヤシ図
51	5-8	五 器械部	弓矢鞆 (クウアイイカエツ) 図	弓矢鞆図
52	5-9	五 器械部	大船 (ホロチブ) 図	大舟図
53	5-10	五 器械部	舟 (チブ) 図	舟図
54	5-11	五 器械部	舟具図	舟具図
55	5-12	五 器械部	(石刀石劍礮石図)	石刀石劍礮石図
56	5-13	五 器械部	(古陶器図)	古陶器図
57	5-14	五 器械部	(古陶器図其二)	其二
58	5-15	五 器械部	(古陶器図其三 附雷斧)	其三 附雷斧
59	6-1	六 熊祭部	白紙	一
60	6-2	六 熊祭部	(熊祭踊図)	※目録なし
61	6-3	六 熊祭部	(熊祭花矢射図)	※目録なし
62	6-4	六 熊祭部	(熊祭挾殺図)	※目録なし
63	6-5	六 熊祭部	(熊祭神酒飲図)	※目録なし
64	6-6	六 熊祭部	(熊祭酒宴図)	※目録なし
65	7-1	七 漁獵部地図部	(漁獵部地図部目録)	漁獵部 地図部
66	7-2	七 漁獵部地図部	鯿魚 (ヘロキコイキ) 図	ヘロキコイキ図
67	7-3	七 漁獵部地図部	ヘロキ写生	ヘロキ写生

通番	巻番	部	画題 (料紙)	画題 (目録)
68	7-4	七 漁獵部地図部	アマクウ図	アマクウ図
69	7-5	七 漁獵部地図部	(捕鷺図)	捕鷺図
70	7-6	七 漁獵部地図部	シイベ	衝鮭図
71	7-7	七 漁獵部地図部	ヲシヤマンベ地図	ヲシヤマンベ地図
72	7-8	七 漁獵部地図部	カヤヘノホリ図	カヤヘノホリ図
73	7-9	七 漁獵部地図部	エシャニノホリ図	エシャニノホリ図
74	7-10	七 漁獵部地図部	エンルモ崎	エリモ崎図
75	7-11	七 漁獵部地図部	(シノタイ地図)	シノタイ地図
76	7-12	七 漁獵部地図部	(トモチクシ地図)	トモチクシ地図
77	7-13	七 漁獵部地図部	(附録 見初月図)	附録 見初月図
78	8-1	八 臚納漁部	(オットセイ猟総説)	※目録なし
79	8-2	八 臚納漁部	(オットセイ猟準備図)	※目録なし
80	8-3	八 臚納漁部	(オットセイ猟突図)	※目録なし
81	8-4	八 臚納漁部	とり獲て家に帰る図	※目録なし
82	8-5	八 臚納漁部	(獲来て会所に出す図)	※目録なし
83	8-6	八 臚納漁部	塩製になしたる図	※目録なし
84	7-8	八 臚納漁部	海狗腎	※目録なし
85	8-8	八 臚納漁部	(オットセイ浮腫図)	※目録なし
86	8-9	八 臚納漁部	ヲ、子ッ図	※目録なし
87	8-10	八 臚納漁部	(本草綱目からの引用)	※目録なし
88	9-1	九 写生部	(写生部目録)	写生部
89	9-2	九 写生部	イドヒリカチカッパ図	イトヒリカ
90	9-3	九 写生部	カシケククロクチ (山岸)	カシケククロクチ
91	9-4	九 写生部	ドカリ (水豹)	トカリ
92	9-5	九 写生部	チシュキナ写生	チシュキナ
93	9-6	九 写生部	イケマ図	イケマ
94	9-7	九 写生部	コリコニ図	コリコニ
95	9-8	九 写生部	アムラクル	アムラクル
96	9-9	九 写生部	シリキツツ (文竹) 図	シリキツツ
97	9-10	九 写生部	タビドンベコルベ	タビドンベコルベ
98	9-11	九 写生部	ソイ	ソイ
99	9-12	九 写生部	(アブラコ写生)	アブラコ
100	9-13	九 写生部	キナポー	キナポー
101	10-1	十 雑図部	(近夷地雑図部目録)	近夷地雑図部
102	10-2	十 雑図部	箱館市中図	箱館市中図
103	10-3	十 雑図部	(箱館婦女図)	同婦女図
104	10-4	十 雑図部	(すりかゝる図)	すりかゝる図
105	10-5	十 雑図部	(古陶器図)	古陶器図
106	10-6	十 雑図部	(古碑図)	古碑図
107	10-7	十 雑図部	モチブ図	モチブ図
108	10-8	十 雑図部	(昆布採図)	昆布採図
109	10-9	十 雑図部	(昆布図)	昆布図
110	10-10	十 雑図部	(農女図)	農女図
111	10-11	十 雑図部	(土埴図)	土埴図
112	10-12	十 雑図部	ムカワ夷ホインガル肖像	ホインガル肖像
113	11-1	十一 諸外島図	(東夷諸外島之部目録)	東夷諸外島之部
114	11-2	十一 諸外島図	祖父嶽 (チャヤノホリ) 図	チャヤノホリ図
115	11-3	十一 諸外島図	(鑿岩図)	鑿岩 (アヨッベシマ) 図
116	11-4	十一 諸外島図	(エトロウ島夷図)	エトロウ島夷図
117	11-5	十一 諸外島図	シウカルウシ写生	エブリコ写生
118	11-6	十一 諸外島図	モロチキナ写生	モロチキナ写生
119	11-7	十一 諸外島図	テンキ図	テンキ図
120	11-8	十一 諸外島図	(烏図)	烏 (バシクル) 図
121	11-9	十一 諸外島図	クン子チロノツツ図	黒狐図
122	11-10	十一 諸外島図	(ラッコ図)	ラッコ図
123	11-11	十一 諸外島図	(ケ子トブシ肖像)	ケ子トブシ肖像
124	12-1	十二 唐太部	(唐太部目録)	唐太部
125	12-2	十二 唐太部	(唐太島夷図)	唐太島夷図
126	12-3	十二 唐太部	シラヌシ地図	シラヌシ地図
127	12-4	十二 唐太部	使犬引舟図	使犬引舟図
128	12-5	十二 唐太部	(判官岬図)	判官岬図
129	12-6	十二 唐太部	カラフト椀 (イタンキ)	カラフト椀図
130	12-7	十二 唐太部	唐人 (カラフト) 島酋長墓	男夷墓
131	12-8	十二 唐太部	カラフト女夷墓	女夷墓
132	13-1	附録 三邑図	松前島地図	※目録なし
133	13-2	附録 三邑図	(松前島説)	※目録なし
134	13-3	附録 三邑図	箱館島地図	※目録なし
135	13-4	附録 三邑図	(箱館島説)	※目録なし
136	13-5	附録 三邑図	江差島地図	※目録なし
137	13-6	附録 三邑図	(江差島説)	※目録なし

資料名	アイヌ考證図	数量	4巻	形態	卷子本	所蔵	国立アイヌ民族博物館	所蔵番号	80054	調査番号	12
法量	第1巻(初巻) : 本紙26.8×378.0cm、軸長28.4cm、軸径1.9cm、巻径4.5cm 第2巻(第弐巻) : 本紙26.8×491.0cm、軸長28.4cm、軸径1.9cm、巻径4.7cm 第3巻(第参巻) : 本紙26.8×582.0cm、軸長28.4cm、軸径1.9cm、巻径5.3cm 第4巻(終尾巻) : 本紙26.8×431.0cm、軸長28.4cm、軸径1.9cm、巻径4.5cm										
註記	紙本著色、卷子装、木戸竹石筆、木箱入り : 法量31.2×23.0×5.2cm、旧番号 : 5187										
構成	場面番号と画題				絵	詞書	東博本	備考			
第1巻(初巻)											
表紙	題箋「アイヌ考證図 初巻」										
見返	28.0cm	見返の法量は八双を含む。									
第1紙	36.5cm	1	(女神窟居説)	×	○	1-6	東博本とは異なる詞書。				
第2紙	37.7cm	2 (女神窟居図)		○	×	1-5	女神の着物(下半)に赤色系の着色(東博本は白色系のみ)。洞窟に樹木の描写あり。海岸部の船に漆器の描写なし。				
第3紙	37.6cm										
第4紙	18.8cm	3 クナシリ島 イコリヤカニ肖像 (男夷図)		○	○	1-7	東博本にはない「クナシリ島イコリヤカニ肖像」の画題あり。衣服の裾や袖口などに文様の描写あり。刀帯に赤色系の着色なし。弓に弦の描写なし。詞書に「イコリヤカニ」の説明あり。				
第5紙	38.0cm										
第6紙	37.5cm										
第7紙	37.5cm	4 (女夷図)		○	○	1-8	口縁部の入墨の描写が強調。耳金に白色系の布の描写あり。首飾りの玉に白色系、器に灰色系の着色(東博本は玉が青色系、器は赤色系)。機織り具に糸の描写なし。衣服の裾や袖口などに文様の描写あり。下着の描写に東博本と相違あり。				
第8紙	36.8cm	5 (女夷文手図・女夷文手説)		○	○	1-10、1-11	絵と詞書を同一場面に描写。袖口の描写なし。文手に東博本と相違あり。				
第9紙	37.9cm	6 シヤバウベ(シヤバウベ図)		○	○	1-9	「シヤバウベ」の左に耳金2点の描写あり(東博本になし)。				
第10紙	37.5cm	7 シトキ(シトキ図)		○	○	1-12	玉に白色系、器に灰色系の着色(東博本は玉が青色系、器は赤色系)。				
第11紙	19.9cm										
第2巻(第弐巻)											
表紙	題箋「第弐巻」										
見返	28.3cm	見返の法量は八双を含む。									
第1紙	18.3cm	白紙。									
第2紙	37.7cm	8	クワアイカヨツフ 弓矢 鞆 芝 図	○	○	5-8	「ラルマニ写生」の描写なし。				
第3紙	37.6cm	9	(計測図)	○	○	×	東博本にはない絵と詞書。				
第4紙	37.1cm	10	アマブ又アマボ(アマクウ図)	○	○	7-4	斜面上に仕掛け弓を設置する構図。木の描写に東博本と相違あり。				
第5紙	37.5cm	11 近蝦夷地舎屋之図(近蝦夷地居家図)		○	○	4-2	家の玄関や木の描写に東博本と相違あり。家の左に木幣や頭骨の描写なし。				
第6紙	20.4cm										
第7紙	37.3cm	12 マチコル(マチコル図・マチコル説)		○	○	3-2、3-3	絵と詞書を同一場面に描写。床のゴザの描写なし。				
第8紙	11.3cm	13 (アツシ織・シグマに乳する図)		○	○	×	東博本にはない絵と詞書。「アツシ織」は東博本4-7「アツシカル図」に絵あり。				
第9紙	30.1cm										
第10紙	37.5cm	(場面12・場面13に関する詞書)		×	○	×	東博本にはない詞書。「撫松子云」の書き出しで「蝦夷ノ婚姻」、「アツシ」・「熊児ニ乳スル」について記述。				
第11紙	37.6cm										
第12紙	36.7cm	14 イヨマンテ又イヨマンテ(熊祭踊図)		○	○	6-2	ゴザ上の漆器の描写に東博本と相違あり。魚を持つ人の右に樽を持つ人の描写あり。木幣削りの3人の左に人物の描写なし。クマ檻のまわりで踊る人は12人(東博本は14人)。アイヌ有力者に赤色系の着物の描写なし。				
第13紙	37.7cm	15 (熊祭花矢射図)		○	○	6-3	人物描写は14人(東博本は16人)。アイヌ有力者に赤色系の着物の描写なし。クマに刺さる矢の描写なし。				
第14紙	31.8cm	16 (熊祭挾殺図)		○	○	6-4	人物描写は10人(東博本は16人)。うちクマを丸太で挾殺する人物の描写は7人(東博本は10人)。丸太の太さが東博本よりも細く、本数は3本(東博本は太い丸太が2本)。				
第15紙	18.3cm										
第3巻(第参巻)											
表紙	題箋「第参巻」										
見返	28.5cm	見返の法量は八双を含む。									
第1紙	12.5cm										
第2紙	37.7cm	17 イナホ(イナホ図)		○	○	5-4	支柱に肌色系の着色(東博本は白色系)。				
第3紙	19.8cm										
第4紙	21.2cm	18 臘臍膾の話(オットセイ獵総説)		×	○	8-1					
第5紙	37.8cm	19 (オットセイ獵準備図)		○	×	8-2	海岸部の船の描写なし。家の右に木の描写あり。画面手前のゴザの描写に東博本と相違あり。ゴザ上の漆器に赤色系の着色なし。				
第6紙	25.5cm										
第7紙	11.4cm	20 (オットセイ鉦突図)		○	○	8-3	詞書あり(東博本にはなし)。突鉦は回転式離頭鉦として描写(東博本は鉤鉦)。船上の人物は2名(東博本は3名)。岩礁の描写あり。				
第8紙	37.8cm										
第9紙	37.5cm	21 (獲来て会所に出す図)		○	○	8-5	米俵と酒樽を運ぶ男性2人の描写あり(東博本は米俵が置かれるのみ)。家屋内部の装飾、玄関の描写に東博本と相違あり。会所の屋根の岩、海岸、会所手前の建物の描写なし。				

資料名	蝦夷島奇観	数量	1巻	形態	卷子本	所蔵	国立アイヌ民族博物館	所蔵番号	80056	調査番号	13
法量	本紙縦26.9cm、巻径4.0cm、軸長26.9cm、軸径2.3cm										
註記	紙本着色、卷子装(裏打あり) 木箱入り：法量32.0×6.7×6.5cm、箱側面にラベル3種貼付(ラベル1「番号：8267 ○に稽/分類：所有動産アイヌ/作者：(空欄)/内容：蝦夷島奇観(写本)」、ラベル2「収蔵番号：80056/旧番号：8267/作品名：蝦夷島奇観/備考：蝦夷島奇観/アイヌ民族博物館」、ラベル3「アイヌ10(朱印「奥崎」)」、箱裏書「九花新郎/天保十年己亥二月大野蔵(朱印)」										
構成	場面番号と画題										
見返	23.3cm			絵	詞書	東博本	備考				
第1紙	37.2cm	1	蝦夷島奇観(序)	×	○	1-1	序文に年記、署名なし。				
第2紙	38.3cm	2	(女神窟居説)	×	○	1-6					
第3紙	38.2cm	3	(女神窟居図)	○	×	1-5	洞窟、漆器、女神の着物等の着色に東博本と相違あり。				
第4紙	38.0cm	4	クナシリ ^{地名也} イコリカヤニ肖像 ^{酋長トキーイ三男(男夷図)}	○	○	1-7	東博本に「クナシリイコリカヤニ肖像」の画題なし。絵の構図は東博本とほぼ同じだが、細部の描写に東博本と相違あり。				
第5紙	37.2cm	5	(女夷図)	○	○	1-8	首飾りの器に濃青色系の着色(東博本は赤色系)。その他細部の描写に東博本と相違あり。				
第6紙	38.2cm	6	女夷文手之図(女夷文手図・女夷文手説)	○	○	1-10、1-11	着物の袖口の描写なし。				
第7紙	38.3cm	7	(シャバウベ図)	○	○	1-9					
第8紙	38.1cm	8	(シトキ図)	○	○	1-12	首飾りの大玉に赤色系の着色、大玉の形も東博本と相違あり。				
第9紙	37.8cm	9	(イナホ図)	○	○	5-4	薄茶色系の着色が東博本よりも濃い(東博本は白色系がベース)。				
第10紙	38.3cm	10	(ラッコ図)	○	○	11-10	細密な毛の描写なし。薄茶色系の着色なし。				
第11紙	38.2cm	11	(ヲンカミ図其二(列座))	○	○	2-3	左の人物の着物の着色、模様は東博本と相違あり。中央の人物の着物が木皮衣(東博本は薄青色系の着物)。				
第12紙	38.2cm	12	(ヲンカミ図其三(ウリリ))	○	○	2-4	着物の背中の文様に赤色系の着色なし。腰にマキリの描写なし。				
第13紙	24.8cm	13	(ヲンカミ図其四(女夷礼))	○	○	2-5	腰にマキリの描写なし。				
摘要	<p>【体裁の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・料紙は雲母刷りの紙を使用。 ・料紙は横約38cm前後のものを使用しているが、料紙の貼り合わせの継ぎ目をまたいで絵や詞書を描写しているものが多数ある。したがって、本資料は卷子や折帖に仕立てることを前提に、継紙に直接描写し、作製したものと言える。 <p>【内容の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〈3巻本構成の模写本〉の第1巻と場面構成がほぼ同じである。 ・絵の細部の描写や詞書の言い回しに東博本と相違は見られるが、絵の構図や詞書は東博本に似ている。 ・絵の細密さやクオリティは東博本よりも劣っている。 <p>【関係文献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財団法人アイヌ民族博物館編『描かれた近世アイヌの風俗』財団法人アイヌ民族博物館、1994年(※55頁に本資料の解題が掲載) 										

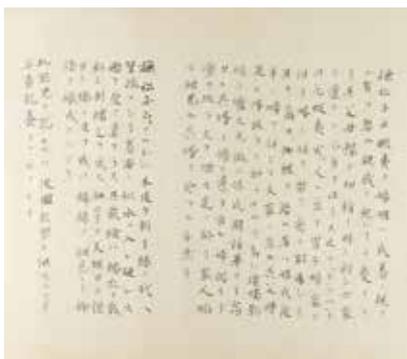


【調査番号13】 場面4 クナシリイコリカヤニ肖像



場面3 クナシリ島イコリカヤニ肖像

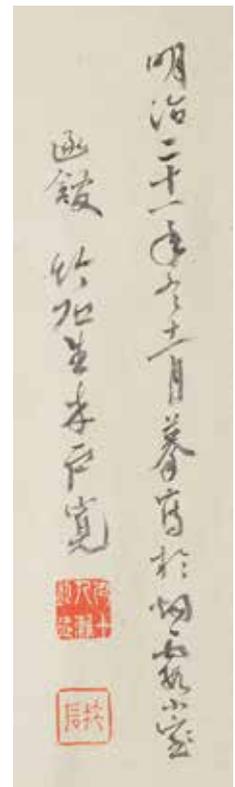
※右↑右上の写真4点は「調査番号12」関連



場面12・13に関する詞書



場面35(千島国蝦夷とイヌの図)



年記・落款

資料名	蝦夷風俗図巻		数量	1巻	形態	卷子本	所蔵	国立アイヌ民族博物館	所蔵番号	80057	調査番号	14
法量	本紙縦29.0cm、表紙縦28.0cm、巻径3.2cm、軸長32.7cm、軸径1.7cm											
註記	紙本着色、卷子装（裏打なし、表紙が本紙の端に貼付されているのみ） 紙箱入り：箱側面にラベル2種貼付（ラベル1「番号：9904 ○に稽／分類：所有動産アイヌ／作者：活（ママ）孝書、千柳画／内容：蝦夷習俗図巻」、ラベル2「収蔵番号：80057／旧番号：9904／作者：活（ママ）孝書、千柳画／作品名：蝦夷風俗図巻／備考：蝦夷島奇観／アイヌ民族博物館」）											
構成	場面番号と画題		絵	詞書	東博本	備考						
見返	20.0cm											
第1紙	35.8cm	1	（熊祭踊図）	○	×	6-2	クマ檻のまわりで踊る絵のみ描写（木幣削りの絵などの描写なし）。踊る人物の数は9人で小袖を羽織る有力者の描写なし（東博本は14人）。					
第2紙	39.9cm	2	蝦夷嶋奇観（序）	×	○	1-1	年記・署名なし。					
		3	（女神窟居説）	×	○	1-6	東博本より詞書が短い。					
第3紙	39.3cm	4	（男夷図）（詞書の一部のみ）	○	○	1-7	東博本1-7の詞書冒頭（「日本紀曰……」の部分）のみを記す（絵の描写なし）。絵は東博本2-5「ヲンカミ図其四（女夷礼）」を描く。					
第4紙	39.0cm	5	（造島神図）（詞書の一部のみ）	○	○	1-4	東博本1-4の詞書末尾（「至るまで……酋長シヨンコ語りき」）のみを記す（絵の描写なし）。絵は東博本6-4「熊祭挾殺図」の中の太刀を掲げる男性を描く。					
		6	（女夷文手説）（詞書の一部のみ）	○	○	1-11	東博本1-11の詞書後半（「日本紀神武天皇……黒玉アジを以て切しと言へり」）のみを記す。絵は東博本2-3「ヲンカミ図其二（列座）」の右の男性のみを描く。					
第5紙	39.1cm	7	（男夷図）（詞書の一部のみ）	○	○	1-7	詞書前欠。東博本1-7の詞書途中に似た文を記す。絵は東博本6-3「花矢射図」の弓矢を射る子どもの絵風の絵を描く。					
第6紙	39.5cm	8	（女夷図）（詞書の一部のみ）	○	○	1-8	東博本1-8の詞書を記す（絵の描写なし）。絵は東博本7-4「アマクウ図」の仕掛け弓とキツネを描く。					
		9	俗式之部 婚礼飲酒法製部（婚礼飲酒法制部目録）	○	○	3-1	東博本3-1とほぼ同様の目録を記す。東博本11-10「ラッコ図」と東博本4-2「近蝦夷地居家図」の絵の描写あり。					
第7紙	39.5cm	10	膾炙膾之部（オットセイ猟総説）	○	○	8-1	東博本8-1の詞書を記す。東博本6-3「熊祭花矢射図」の中の男性（アイヌ有力者）の絵の描写あり。					
第8紙	39.5cm	11	マチコルとハ（マチコル説）	○	○	3-3	東博本3-3の詞書を記す。東博本3-7「鼓絃図」の楽器を持つ男性の絵の描写あり。					
第9紙	40.1cm	12	（飲酒図）（詞書の一部のみ）	○	○	3-4	東博本3-4の詞書を記す（絵の描写なし）。東博本3-10「ニヨエン図」の絵の一部を描く。					
第10紙	39.1cm	13	（本草綱目からの引用）	○	○	8-10	東博本8-10の詞書を記す。クマの頭部を棒で挟み込み、2人の男性がさらに棒でクマを押さえ込む絵の描写あり。					
第11紙	29.4cm	14	（熊祭酒宴図）（詞書の一部のみ）	×	○	6-6	東博本6-6の詞書の後半部分のみを記す。料紙末尾に「恬考書之／千柳之」とあり。					
摘要	<p>【体裁の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 裏打ちしていない継紙に木製軸（漆塗りなどではないただの丸棒の裸木）と表紙を貼り合わせただけの粗末な卷子装である。 料紙は横39cm前後のものを使用している。 料紙の貼り合わせの継ぎ目をまたいで詞書を描写しているのは1か所のみ（場面3の冒頭部分）だが、多くの絵は継ぎ目部分に描写されている。したがって、本資料は料紙ごとに詞書がまず記され、料紙を継紙として貼り合わせたあと、余白部分に絵を後から描写したものと推測される。 <p>【内容の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 場面と場面の間（もしくは料紙下部）に絵の描写があるものの、それらは詞書とは関係のない絵である。これは、上記（体裁の特徴の3項目）で述べたとおり、詞書の余白部分に絵を後から描写したためであり、詞書の内容と関係のない絵を挿絵的に描写したためと推測される。 絵の細密さやクオリティは東博本よりも格段に劣っている。 本資料で描写される絵は、ほとんどが東博本のどこかの場面の中で見られる絵であるが、場面13と14の間に描かれる絵のみ東博本には見られない絵である（ただし東博本6-4「熊祭挾殺図」に若干似た絵はある）。 <p>【関係文献】</p> <ul style="list-style-type: none"> 財団法人アイヌ民族博物館編『描かれた近世アイヌの風俗』財団法人アイヌ民族博物館、1994年 											



場面4～6



場面13

資料名	蝦夷島奇観巻物		数量	1巻	形態	卷子本	所蔵	国立アイヌ民族博物館	所蔵番号	80061	調査番号	15
法量	本紙縦26.5cm、外形縦29.5cm、巻径8.5cm、軸径3.9cm											
註記	紙本著色、表装なし(剥がし痕あり)、裏打あり(2枚貼り合わせ、卷子装の裏打なし) 木箱入り。箱蓋表に「蝦夷島奇観」と墨書。箱側面にラベル2種貼付(ラベル1「番号:31040 ○に稽/分類:所有動産アイヌ/作者:(記載なし)/内容:蝦夷島奇観巻」、ラベル2「収蔵番号:80061/旧番号:31040/作者:(記載なし)/作品名:蝦夷島奇観/備考:(記載なし)/アイヌ民族博物館」)											
構成			場面番号と画題		絵	詞書	東博本	備考				
見返	14.9cm								裏書「和泉町/長谷川久治郎」			
第1紙	23.6cm	1	蝦夷嶋奇観(女神窟居説)		×	○	1-6	料紙右下に黒丸印あり。				
第2紙	37.4cm	2	(女神窟居図)		○	×	1-5	女神の左に漆器の描写なし。女神の着物に薄青色系の着色。海岸船上の漆器に文様、黒色の着色なし。				
第3紙	38.6cm	3	クナシリ地名也イコリカヤニ肖像酋長トキイ三男(男夷図)		○	○	1-7	「日本紀曰……(中略)……駿府江参上」の詞書なし。着物の裾・襟の文様など細部に東博本と相違あり。				
第4紙	38.3cm	4	(女夷図)		○	○	1-8	口縁部の入墨が強調。首飾りの器の着色や着物の模様などの描写に東博本と相違あり。				
第5紙	38.7cm	5	女夷文手の図(女夷文手図・女夷文手説)		○	○	1-10、1-11	着物の袖口の描写なし。文手の模様などに東博本と相違あり。				
第6紙	9.1cm											
第7紙	31.7cm	6	(シャバウベ図)		○	○	1-9					
第8紙	5.8cm	7	(シトキ図)		○	○	1-12	器に薄青色系の着色(東博本は赤色系)、首飾りの大玉に薄茶色系の着色(東博本は青色系)。				
第9紙	39.0cm											
第10紙	32.3cm	8	(イナホ図)		○	○	5-4	木幣に白色系の着色なし。				
第11紙	38.5cm	9	(ラッコ図)		○	○	11-10	ラッコの毛の描写が粗雑。尻尾が長く、やや胴長に描写。				
第12紙	38.2cm	10	(ランカミ図其二(列座))		○	○	2-3	左の人物は白色系に赤色系の上着で、東博本と文様に相違あり。頭頂部の毛量が東博本より豊か。画面中央の人物は右の人物と同じく木皮衣を着用。				
第13紙	8.9cm	11	(ランカミ図其三(ウリリ))		○	○	2-4	着物の背中の文様に赤色系の着色なし。また青色系の着色も東博本より薄い水色系の着色。腰にマキリの描写なし。				
第14紙	30.5cm											
第15紙	23.0cm	12	(ランカミ図其四(女夷礼))		○	○	2-5	腕部に文手の描写なし。腰にマキリの描写なし。				
第16紙	22.8cm	13	オットセイ 臍膵部(オットセイ獵総説)		×	○	8-1					
第17紙	39.2cm	14	(オットセイ獵準備図)		○	×	8-2	家屋右の頭骨の描写なし。家屋手前の木幣削りの人物が1人(東博本は2人)、ゴザ上の漆器の描写なし。				
第18紙	38.9cm	15	(オットセイ鋸突図)		○	○	8-3	詞書あり(東博本にはなし)。				
第19紙	38.6cm	16	(獲来て会所に出す図)		○	○	8-5	会所の屋根上の岩、会所手前の別の建物、会所左の海岸の描写なし。会所玄関、内装、着物の着色、模様などに東博本と相違あり。				
第20紙	38.5cm	17	(オットセイ浮睡図)		○	○	8-8	オットセイの左の水鳥の描写位置に東博本と相違あり。				
第21紙	38.7cm	18	塩製となしたる図(塩製になしたる図)		○	×	8-6	結束縄に薄青色系の着色。				
		19	海狗腎		○	○	8-7	海狗腎の形に東博本と相違あり。海狗腎に着色なし。				
第22紙	38.6cm	20	ヲ、子ツッ図(ヲ、子ツッ図)		○	○	8-9	毛の描写が東博本よりも粗雑。目玉が白目で体躯の外側に描写。				
第23紙	9.8cm	21	(熊祭踊図)		○	○	6-2	クマ檻のまわりで踊る人は11人で、うち子ども1人(東博本は14人で、子どもの描写なし)。クマの足元の草の描写なし。クマ檻の木の描写が墨線。白色・薄青色系に着色した着物の描写あり。				
第24紙	35.7cm											
第25紙	9.0cm	22	(熊祭花矢射図)		○	○	6-3	人物の構図、有力者の着物の着色などに東博本と相違あり。クマに刺さる矢の描写なし。				
第26紙	37.2cm											
第27紙	6.9cm	23	(熊祭挾殺図)		○	○	6-4	クマを挟む大木は3本(東博本は2本)。着物や太刀の着色などに東博本と相違あり。				
第28紙	39.0cm											
第29紙	13.8cm	24	(熊祭神酒飲図)		○	○	6-5	人物の構図、着物や祭壇上の漆器、ゴザの着色・模様などに東博本と相違あり。木幣の形に東博本と相違あり。				
第30紙	39.2cm											
第31紙	23.3cm	25	(熊祭酒宴図)		○	○	6-6	着物の模様、着色などに東博本と相違あり。画面右側のゴザ上の人物は1人(東博本は3人)。ゴザ上の漆器は行器3つ(東博本は行器2つと台盃1つ)。				
第32紙	38.2cm											
第33紙	9.9cm	26	近蝦夷地居家図		○	○	4-2	家屋左に頭骨や幣の描写なし。家屋右手の大木、蔵、木幣、地面の草の描写などに東博本と相違あり。				
第34紙	12.5cm											
第35紙	38.6cm	27	西蝦夷地(西夷地居家図)		○	○	4-3	家屋の左にクマ檻、右に木や木幣の描写なし。家屋まわりの木垣の描写に東博本と相違あり。				
第36紙	38.3cm											
第37紙	39.1cm	28	(蝦夷地の内の図(家器宝械図))		○	○	4-4	床上の漆器の着色、位置、形などに東博本と相違あり。				
第38紙	8.0cm	29	弓矢鞆図		○	○	5-8	弓矢、矢筒の細部の文様、着色などに東博本と相違あり。「ラルマニ写生」の描写なし。				
第39紙	39.3cm											
第40紙	37.2cm	30	アマブ亦アマクウ(アマクウ図)		○	○	7-4	地面の草、木、仕掛け弓などの形や細部の描写に東博本と相違あり。				
第41紙	17.0cm											
第42紙	7.7cm	31	婦造 マチコル之図(マチコル図・マチコル説)		○	○	3-2、3-3	絵を囲うように詞書を記載。				
第43紙	39.0cm											
第44紙	39.5cm	32	(飲酒図)		○	○	3-4					

第45紙	38.9cm	33	(タフカリ図)	○	○	3-5	画面左のゴザ上の漆器の描写なし。踊る人物9人の着物は全員が木皮衣(東博本は木皮衣3人で他は小袖、毛皮衣、鳥羽衣などさまざま)。
第46紙 第47紙	7.7cm 39.0cm	34	ウカリ稽古の図	○	○	3-8	こん棒で叩かれる人物の背の毛皮は毛の付いている方を内側に描写(東博本は外側)。
第48紙	39.0cm	35	(ウカリ真行図)	○	○	3-9	笹の葉を水に付ける容器は漆器(東博本は木桶)。
第49紙	18.5cm	36	(ニヨエン図)	○	○	3-10	海上の船は1艘(東博本は2艘)。海岸の人物の1人の着物に薄青色系の着色。刀鞘に赤色系の着色(東博本は掛け帯に赤色系の着色)。
第50紙	36.8cm						
第51紙	7.3cm	37	(誠絃図)	○	○	3-7	「ランヌマニ写生」、「モセキナ写生」の描写なし。
第52紙	38.8cm	38	(サイモン図)	○	○	3-11	鍋から沸き上がる湯気と湯の描写なし。着物に文様の描写あり(東博本は無文)。
摘要	<p>【体裁の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 料紙は裏打ちされているが、表紙はなく、卷子装の裏打ちはない。料紙上下に剥がし痕が見られることから、元々はきちんと表装された卷子本だったものと推測される。 料紙は横39.5cm以内のものを使用している。各場面は1枚の料紙ないしそれに短い料紙を貼り合わせた継紙に描写されている。このことから、本資料は、各場面ごとに絵と詞書がまず描写・作製され、後で料紙の裏に裏打ち紙を貼り合わせ、卷子として仕立てたものと推測される。 <p>【内容の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人物の顔、服の皺などの描写が東博本と比べて簡素である(陰影の表現があまり見られない)。 〈3巻本構成の模写本〉と収録場面がほぼ同じで、それを1巻に仕立てたものと言える。ただし、オットセイ、クマ祭りの場面が巻子の真ん中あたりに収録されているので、〈3巻本構成の模写本〉の第1巻→第3巻→第2巻の順で収録されていると言える。 絵の細部の描写や詞書の言い回しに東博本と相違は見られるが、絵の構図や詞書は東博本に似ている。 絵の細密さやクオリティは東博本よりも劣っている。 <p>【関係文献】</p> <ul style="list-style-type: none"> 財団法人アイヌ民族博物館編『描かれた近世アイヌの風俗』財団法人アイヌ民族博物館、1994年 						



場面5

場面4

場面3



場面12

場面11

場面10



場面22

場面21

資料名	蝦夷島奇観		数量	1巻	形態	卷子本	所蔵	国(文化庁保管)	所蔵番号	NAM126	調査番号	16
法量	第1巻: 本紙縦29.9cm、軸長31.8cm、軸径2.7cm、巻径2.7cm 第2巻: 本紙縦29.9cm、軸長31.3cm、軸径2.3cm、巻径4.5cm 第3巻: 本紙縦29.9cm、軸長31.2cm、軸径2.2cm、巻径4.4cm 第4巻: 本紙縦29.9cm、軸長31.5cm、軸径2.4cm、巻径4.3cm											
註記	紙本著色、卷子装(裏打あり)、箱入り。											
構成	場面番号と画題						絵	詞書	東博本	備考		
第1巻												
表紙										題箋「蝦夷島奇観 巻」。		
見返	13.5cm									見返の法量は八双を含む。		
第1紙	36.9cm	1	蝦夷人の始祖(女神窟居説)				×	○	1-6	東博本とは異なる詞書。		
第2紙	38.5cm									画面右に英文あり。		
第3紙	38.5cm	2	〔女神窟居図〕				○	×	1-5	女神の着物(下半)に赤色系の着色(東博本は白色系のみ)。洞窟に樹木の描写あり。海岸部の船に漆器の描写なし。		
第4紙	38.4cm	3	クナシリ島 イコリカヤニ肖像 (男夷図)	ヲトナ 酋長トノキーイ三男			○	○	1-7	東博本にはない「クナシリ島イコリカヤニ肖像」の画題あり。東博本より詞書が短い。絵の右に「Ainu Chief」と英文あり。衣服の裾や袖口などに文様の描写あり。刀帯に赤色系の着色なし。弓に弦の描写なし。		
第5紙	37.4cm	4	メノコ(女夷図)				○	○	1-8	東博本より詞書が短い。絵の右に英文あり。口縁部の入墨の描写が強調。耳身に赤色系の布の描写あり。首飾りの玉に白色系、器に灰色系の着色(東博本は玉が青色系、器は赤色系)。機織り具に糸の描写なし。衣服の裾や袖口などに文様の描写あり。下着の描写に東博本と相違あり。		
第6紙	38.2cm	5	〔女夷文手図・女夷文手説〕				○	○	1-10、1-11	東博本より詞書が短い。絵の右下に英文あり。袖口の描写なし。文手に東博本と相違あり。		
第7紙	38.2cm	6	シヤパウベ(シヤパウベ図)				○	○	1-9	東博本より詞書が短い。絵の右下に英文あり。		
第8紙	38.3cm									東博本より詞書が短い。絵の右下に英文あり。		
第9紙	18.4cm	7	シトキ(シトキ図)				○	○	1-12	東博本より詞書が短い。絵の右下に英文あり。玉に白色系、器に灰色系の着色(東博本は玉が青色系、器は赤色系)。「シトキ」の右に耳金2点の描写あり(東博本になし)。		
第10紙	4.0cm									第9紙と第10紙は断裂。		
第2巻												
表紙										題箋「蝦夷島奇観 第二」。		
見返	14.1cm									見返の法量は八双を含む。		
第1紙	37.9cm	8	イナホ(イナホ図)				○	○	5-4	絵の右下に英文あり。イナホに白色系の着色なし。		
第2紙	38.3cm	9	〔オットセイ猟準備図〕				○	×	8-2	絵の右に英文あり。海岸部の船の描写なし。家の右に木の描写があり、頭骨の描写なし。画面手前のゴザに模様様の描写なし。ゴザ上の漆器の形と着色に東博本と相違あり。鋸に鋸先の描写あり。		
第3紙	29.1cm	10	ウヰヲ 臍肭臍	〔オットセイ猟総説〕			×	○	8-1			
第4紙	19.2cm									絵の右下に英文あり。		
第5紙	38.2cm	11	〔オットセイ鋸突図〕				○	×	8-3	突鋸は回転式離頭鋸として描写(東博本は鉤鋸)。船上の人物は2名(東博本は3名)。岩礁の描写あり。浮遊するオットセイと水鳥の絵が東博本より小さい。		
第6紙	38.4cm									絵の右下に英文あり。		
第7紙	8.9cm	12	〔獲来て会所に出す図〕				○	○	8-5	米俵と酒樽を運ぶ男性2人の描写あり(東博本は米俵が置かれるのみ)。家屋内部の装飾、玄関の描写に東博本と相違あり。会所の屋根の岩、海岸、会所手前の建物の描写なし。		
第8紙	36.1cm	13	陰茎(海狗腎)				○	×	8-7	「陰茎」の絵の下に「塩製になしたる図」を描写。形や着色に東博本と相違あり。		
		14	〔塩製になしたる図〕				○	×	8-6	絵の下に英文あり。オットセイの毛の描写がないなど、東博本より描写が粗雑(灰色系ベタ塗り)。		
		15	ラッコの図(ラッコ図)				○	○	11-10	絵の構図に東博本と相違あり(ラッコが地面に立っている)。		
第9紙	38.5cm									絵の上に英文あり。		
第10紙	38.3cm	16	アイノ人(ヲンカミ図)				○	○	2-2	先導する和人の向きが正面(東博本は背を向ける)。アイノの人数が5人で、全員が木皮衣を着用(東博本は3人で、着物が3人とも異なる)。		
第11紙	38.2cm	17	〔ヲンカミ図其二(列座)〕				○	○	2-3	3人とも木皮衣の上に陣羽織を着用。画面上に台盃を持つ手の描写と英文あり。		
第12紙	32.0cm	18	ヲムシヤ				×	○	×	「ヲムシヤ」を説明する詞書と英文あり。		
第13紙	38.4cm	19	リムセ又ヲフカリ(飲酒図)				○	○	3-4	東博本3-4「飲酒図」や3-5「ヲフカリ図」の詞書とは異なる詞書。絵の下に英文あり。ゴザの描写が東博本より粗雑。ゴザ上中央の台盃を持つ男性の描写なし。		
第14紙	38.6cm	20	〔ヲンカミ図其三(ウリリ)〕				○	○	2-4	絵の下に英文あり。東博本2-4の右の絵のみ描写(左の絵は第3巻の場面21で描写)。左の人物の着物の背中に赤色系の着色なし。腰にマキリの描写なし。		
第15紙	11.9cm											

第3巻							
表紙						題箋「蝦夷島奇観 三」	
見返	14.2cm					見返の法量は八双を含む。	
第1紙	33.1cm	21	(ヲンカミ図其三(ウリリ))	○	○	2-4	絵の下に英文あり。 東博本2-4の左の絵のみ描写(右の絵は第2巻の場面20で描写)。着物の背中に赤色系の着色なし。腰にマキリの描写なし。
		22	(ヲンカミ図其四(女夷礼))	○	×	2-5	絵の下に英文あり。 下着に薄赤系の着物の描写あり。耳金の描写なし(赤色系の布の描写のみ)。口縁部に入墨の描写あり。腰にマキリの描写なし。
第2紙	7.4cm	23	クウアイイカヨップ 弓矢鞆ノ図(弓矢鞆図)	○	○	5-8	東博本より詞書が短い。絵の下に英文あり。 「ラルマニ写生」の描写なし。
第3紙	38.2cm						
第4紙	38.4cm	24	(計測図)	○	○	×	絵の下に英文あり。 東博本にはない絵と詞書。
第5紙	38.0cm	25	仕掛弓(アマクウ図)	○	○	7-4	絵の下に英文あり。 斜面上に仕掛弓を設置する構図。木の描写に東博本と相違あり。
第6紙	13.8cm						
第7紙	22.9cm	26	近蝦夷地舎屋の図(近蝦夷地居家図)	○	○	4-2	絵の下に英文あり。 家の玄関や木の描写に東博本と相違あり。家の左に木幣や頭骨の描写なし。
第8紙	23.6cm						
第9紙	38.5cm	27	マチコル(マチコル図・マチコル説)	○	○	3-2、3-3	絵と詞書を同一場面に描写。床のゴザの描写なし。
第10紙	28.2cm	28	(アツシ織・子グマに乳する図)	○	×	×	絵の下に英文あり。 東博本にはない絵。「アツシ織」は東博本4-7「アッドシカル図」に絵あり。
第11紙	21.5cm						
第12紙	38.0cm	29	イヨマンデ 熊祭(熊祭踊図)	○	○	6-2	木幣削りとクマ檻踊図の間に詞書を記載し、絵を分けて描写。それぞれの絵の下に英文あり。 ゴザ上の漆器の描写に東博本と相違あり。魚を持つ人の右に樽を持つ人の描写あり。木幣削りの3人の左に人物の描写なし。クマ檻のまわりで踊る人は16人前後(東博本は14人)。アイヌ有力者は陣羽織着用。衣服を着た子どもの描写あり。クマ檻の上に岩の描写あり。
第13紙	35.6cm						
第14紙	38.4cm	30	(熊祭花矢射図)	○	○	6-3	絵の下に英文あり。 人物描写は14人(東博本は16人)。アイヌ有力者に赤色系の着物の描写なし。クマに刺さる矢の描写なし。
第15紙	38.0cm	31	(熊祭挾殺図)	○	○	6-4	絵の下に英文あり。 人物描写は10人(東博本は16人)。うちクマを丸太で挾殺する人物の描写は7人(東博本は10人)。丸太の太さが東博本よりも細く、本数は3本(東博本は太い丸太が2本)。
第16紙	8.1cm						
第17紙	6.3cm						
第4巻							
表紙						題箋「蝦夷島奇観 四」	
見返	14.0cm						見返の法量は八双を含む。
第1紙	37.7cm	32	ヌシヤサンカタ祭事也(熊祭神酒飲図)	○	○	6-5	東博本より詞書が短い。絵の下に英文あり。 祭壇に着物の描写あり。祭壇床のゴザの面積が小さく、模様がない。アイヌ有力者は陣羽織着用。クマに木幣と銀器の描写あり。その他細部の描写に東博本と相違あり。
第2紙	38.1cm						
第3紙	38.5cm	33	(熊祭酒宴図)	○	○	6-6	画面右のゴザの人物・漆器の描写に東博本と相違あり。ゴザの描写が粗雑(薄茶色系ベタ塗り)。アイヌ有力者は陣羽織着用。絵の右に調理・餅搗きの絵あり(東博本にはなし)。 酒宴図、調理・餅搗きの絵のそれぞれの下に英文あり。
第4紙	38.2cm						
第5紙	23.5cm	34	ウカリ(ウカリ稽古図)	○	○	3-8	絵の下に英文あり。 棒で叩かれる人物が背負う毛皮は毛のある方を内側に描写(東博本は逆)。東博本3-9「ウカリ真行図」の笹の葉を桶に付ける描写あり。
第6紙	12.3cm	35	サイモン 探湯(サイモン図)	○	○	3-11	絵の下に英文あり。 鍋からの湯気の描写が東博本より控えめ。着物の裾などに文様の描写あり。
第7紙	38.3cm						
第8紙	38.5cm	36	カー(カ写生)	○	○	3-6	東博本より力を小さく描写(左上が上で右下が下の構図)。絃の描写なし。 東博本3-7「鼓絃図」の詞書を改変した文を掲載。場面36・37の絵の下に英文あり。
		37	(楽器図)	○	○	×	東博本には見られない楽器の絵を描写。
第9紙	38.5cm	38	(鼓絃図)	○	○	3-7	絵の下に英文あり。 絵は(カ演奏図)(ただしゴザの描写なし)のみ(ランヌマニ写生、モセキナ写生の絵なし)。台盆の描写あり。絃を弾く手指の描写に東博本と相違あり。着物の袖などに文様の描写あり。
第10紙	36.7cm	39	(千島国蝦夷とイヌの図)	○	×	×	絵の下に英文あり。 東博本には見られない絵。
第11紙	33.0cm	40	(タビドンベコルベ)	○	○	9-10	絵の下に英文あり。 背景描写なし。「シヤリカニ」は2匹描写(東博本は1匹)。

第12紙	37.5cm	41	(アムラクル)		9-8	絵の下に英文あり。 東博本9-8「アムラクル」とは異なる植物画。
第13紙	9.5cm					「明治廿五年六月函館博物館列品中ヨリ撮影／明治廿八年二月於東京表装」と墨書あり。
摘要	<p>【体裁の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4巻仕立ての卷子本である。 ・料紙は裏打ちされている。 ・料紙は横38cm前後のものを使用し、所々に短い料紙を貼り合わせて継いでいる。 ・料紙をまたいで描写している場面が見られる。すなわち、料紙1枚ないし2枚に描いた各場面を貼り合わせたのではなく、ある程度の長さの継ぎに絵と詞書を直接描写し、それを卷子に仕立てたものである。 <p>【内容の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たいていの絵には英文の説明が付けられている。 ・収録場面は〈3巻本構成の模写本〉とほぼ同じである。 ・場面18、場面24、場面28、場面37、場面39は東博本には見られない場面である。また、場面7にある耳金の絵、場面15のラッコの図、場面17にある台盃を持つ手の絵、場面33にある調理・餅搗きの絵など、東博本には見られない描写も見られる。 ・東博本2-4（ヲンカミ図其三（ウリリ））の場面は、第2巻末尾の場面20、第3巻冒頭の場面21で泣き別れになっている。また第3巻末尾の場面31（熊祭挾殺図）と第4巻冒頭の場面32（熊祭神酒飲図）は、東博本では連続している場面である。本資料4巻がこのような不自然な構成になっているのは、元々〈3巻本構成の模写本〉であったものを4巻に仕立てたためと考えられる。 ・絵の細密さやクオリティは東博本と同等ないしそれ以上のものもあれば、劣っているものもある。例えば、場面3の（男夷図）は東博本と同等に比較的丁寧に描写されているが、場面13の陰莖（海狗腎）、場面14の（塩製にしたる図）は東博本に比べて粗雑である。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4巻仕立ての『蝦夷島奇観』模写本としては、国立アイヌ民族博物館所蔵の『アイヌ考證図』（木戸竹石筆、本稿151頁の調査番号12）、函館市中央図書館所蔵の『北海道土人画卷』、函館中部高校所蔵の『北海道土人画卷』（木村巴江筆）などが知られている。本資料は函館市中央図書館所蔵の『北海道土人画卷』と絵の筆致や詞書の筆蹟が酷似している。 					

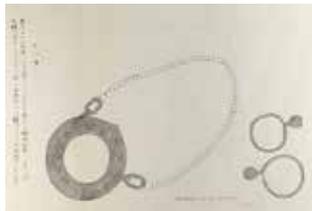


場面3

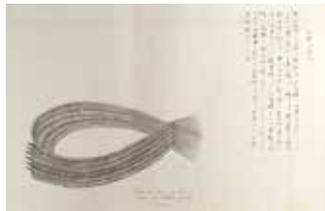


場面2

場面1



場面7



場面6

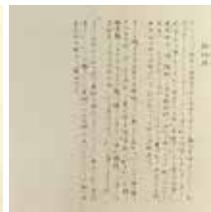


場面5

場面4



場面11



場面10



場面9



場面8



場面16



場面15



場面12

場面13・14



場面20



場面19



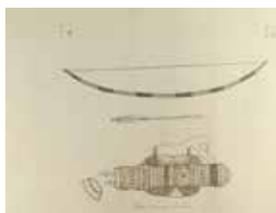
場面18 場面17



場面25



場面24



場面23



場面22 場面21



場面28



場面27



場面26



場面31



場面30



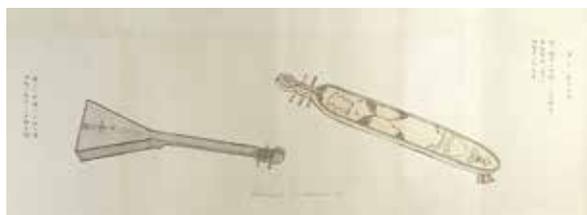
場面29



場面33



場面32



場面37



場面35



場面34



場面41



場面40



場面39



場面38

資料名	唐太島奇観		数量	1巻	形態	卷子本	所蔵	国(文化庁保管)	所蔵番号	H29-2-3	調査番号	17
法量	本紙縦28.3cm、台紙縦29.6cm、軸長31.8cm、軸径2.3cm、巻径9.0cm											
註記	紙本著色、卷子装(裏打あり) 木箱入り：上蓋裏に「町野所蔵」と墨書あり。 ※「町野」は旧会津藩士で明治以降に陸軍軍人・政治家として活躍した町野武馬(1875-1968)とのこと。											
構成	場面番号と画題			絵	詞書	東博本	備考					
表紙							題箋「唐太島奇観」					
見返	40.2cm						見返の法量は八双を含む。					
第1紙	38.9cm	1	(序)	×	○	×	料紙端上に関防印(朱方印)。 年記・署名「文化六年巳夏六月窓下 源賢隆山東雲誌」、印章：朱方印「山東雲印」(朱文)					
第2紙	38.7cm	2	カラフト唐太着船之図	○	○	×	大型船2艘と小型船1艘が着船する様子を描く。背景の陸地・海岸の形は東博本12-3「シラヌシ地図」に似ている。詞書は画面右に「見ぬ人のすさみとも或唐太のしまのもくつを書あつめぬる」と記し、画面左に牧原直滋の和歌「行て見し 心地こそすれ みのくの えそか千島の 波のくる」を記す(※場面50にもほぼ同様の詞書と和歌の記載あり)。					
第3紙	39.6cm	3	(女神窟居図・女神窟居説)	○	○	1-5、1-6	絵の構図、詞書とも東博本にほぼ同じ(ただし絵と詞書を同一場面に描写)。画面左の漆器は2つのみ描写(東博本の左の漆器は料紙が切断され描写なし)。					
第4紙	39.4cm	4	唐太嶼夷人之図(男夷図・女夷図)	○	○	1-7、1-8	絵は東博本の構図とよく似ているが着物の襟袖の文様など細部に東博本と相違あり。また、男女の絵とも手に何も持っておらず、腕の構図に東博本と相違あり。					
第5紙	24.1cm	5	カラフト隅夷人之図	○	○	×	アザラシ皮の服、脚絆、靴を身につけた男性の絵。キセルを口にくわえている。					
第6紙	26.2cm	6	(カラフト隅夷人之図(親子))	○	×	×	木皮衣、アザラシ皮の脚絆、靴を身につけ、縄で括り付けた荷物を頭上に背負った男性と、毛皮を身につけ、魚の切り身を手に持ち、赤ん坊を背中に背負った女性の絵。					
第7紙	40.0cm	7	女夷手文図(女夷文手図・女夷文手説)	○	○	1-10、1-11	絵の構図、詞書とも東博本にほぼ同じ(ただし絵と詞書を同一場面に描写)。絵の下に本資料独自の詞書あり。					
第8紙	39.9cm	8	構武之図	○	×	×	鍛錬の様子を上役が実見する様子を描いた絵。画面の左右に会津葵の入った白い幔幕が描かれ、画面上部にも弓矢や剣の稽古をする様子が描かれている。					
第9紙	25.3cm	9	於唐太日向隊操練之図	○	×	×	会津藩の日向隊の陣形の様子を描いた絵。画面左上には、会津藩の陣将北原采女、丹羽織之丞や、幕府の検使・山岡伝十郎、最上徳内も描かれている。					
第10紙	25.7cm											
第11紙	40.1cm	10	オムシヤ 拝礼之式図	○	×	×	会津藩士がアイヌの有力者たちに対しオムシヤを行う場面を描いた絵。					
第12紙	33.8cm	11	(ランカミ図)	○	○	2-2	右へ向かって進むように描写(東博本は左向き)。着物の描写は東博本と異なり、アイヌ有力者は3人とも小袖を着用。詞書は東博本にほぼ同じだが、末尾に「此図奇観模写唐太も様同也」と記す。					
第13紙	39.1cm	12	其二(ランカミ図其二(列座))	○	○	2-3	中央の人物は木皮衣を着用。中央と右の人物の木皮衣の肩部分に文様の描写あり。そのほか、細部の描写に相違は見られるものの、絵の構図や詞書は東博本にほぼ同じ。					
第14紙	38.4cm	13	其三(ランカミ図其三(ウリリ))	○	○	2-4	画面右の手を取り合う男女の腰にマキリの描写なし。そのほか、細部の描写に相違は見られるものの、絵の構図や詞書は東博本にほぼ同じ。					
第15紙	39.8cm	14	其四(ランカミ図其四(女夷礼))	○	○	2-5	腰にマキリ、手に入墨の描写なし。そのほか、細部の描写に相違は見られるものの、絵の構図や詞書は東博本にほぼ同じ。					
		15	グワアイ 弓矢之図	○	○	5-8	弓矢が画面左上から中央下へ斜めに描写され、矢筒や「ラルマニ写生」の描写なし。弓矢の描写は東博本よりも簡素。「最上常矩伝……」など独自の詞書を記す。					
第16紙	38.2cm	16	造 婦 コルマチ図	○	○	3-2	画題「コルマチ図」の下に「奇観図模写」と記す。絵の構図や詞書は東博本にほぼ同じ。					
第17紙	40.1cm	17	(サイモン図)	○	○	3-11	人物描写は5人(東博本は3人)。床のゴザや囲炉裏の背景描写あり(東博本はなし)。詞書は東博本にほぼ同じ。					
第18紙	37.5cm	18	飲 酒 イクチケンベ図	○	○	3-4	ゴザの描写なし。人物描写は13人(東博本は7人)。画面左に東博本6-3「熊祭挾殺図」の画面左に見られる裸の子どもとその手を引く女性の絵、画面右下に東博本3-9「ウカリ真行図」に見られる3人のゴザ上に座る男性(ただし本場面にゴザの描写はない)が描写。詞書は東博本にほぼ同じ。					
第19紙	36.5cm	19	其二(熊祭酒宴図)	○	○	6-6	ゴザ上に和人2人の描写なし(代わりに小袖を着用したアイヌ有力者が描写)。画面右の漆器を持つ人の右の2人(うち子ども1人)とゴザ上の漆器の描写なし。詞書は東博本と全く異なり、「夷人の通詞」として「一、風ヲレラ」などと数十の日本語-アイヌ語の単語を列挙。					

第20紙	34.0cm	20	タフカリ図	○	○	3-5	踊る人10人(東博本は9人)は全員が木皮衣を着用(東博本は小袖、鳥羽衣などさまざま)。画面左右のゴザ上の漆器の描写がなく、代わりに裸の子どもや赤ん坊を背負う人の描写あり(※東博本には見られないが、北海道立図書館所蔵『アイヌ画譜上』の(熊祭踊図)や(熊祭花矢射図)に見られる絵)。詞書は東博本のをベースに独自のものを加えて記述。
第21紙	37.9cm	21	(ヲチュエ図(葬礼図))	○	○	2-7	床上のゴザと人物2名などの描写なし。詞書は東博本2-7(ヲチュエ図(葬礼図))の文に続いて、東博本2-8(ヲチュエ図其二(家焼却))に似た文を記述。
第22紙	38.6cm	22	其二(ヲチュエ図其三(メッカウチ))	○	○	2-9	背景描写なし。画面右の一団は手に木の棒を持ち、刀と刀帯の描写なし。詞書は東博本にほぼ同じだが、末尾に「袖中抄曰……」を追加して記述。
第23紙	38.3cm	23	カ(鼓絃図)	○	○	3-7	ゴザ上で五絃琴を弾く絵のみ描写(ランヌマニ写生、モセキナ写生の絵なし)。詞書は東博本にほぼ同じだが、後半に「唐太夷人も唄は有れとも……」として独自の詞書を記す。
第24紙	36.7cm	24	カラフト 唐人夷人漁舟漕出図	○	○	x	2人が海上を船で漕ぐ様子を描いた絵。絵の構図は東博本8-3(オットセイ突図)と似ている(船上で鉾を持つ男性や海上に浮かぶオットセイや水鳥の描写はない)。詞書は「胡沙(コサ)吹」として独自のものを記す。
第25紙	39.5cm	25	シイベ(衝鯨図)	○	○	7-6	大木や対岸の描写はないが、東博本7-6の絵に構図が似ている。東博本の詞書に続いて、10行目「此地鱈魚殊に多し、ルヲタカ辺……」と独自の詞書を記す。
第26紙	39.1cm	26	(唐太島夷図)	○	○	12-2	イヌ2頭が船(2人乗船)を牽く絵の描写あり(東博本12-2と異なる絵。東博本12-4「使犬引船図」の絵とも構図が異なる)。詞書は東博本にほぼ同じだが、途中15行目「一、文化五辰年間宮某林蔵に命して山丹の境に至らしむ」の2行が東博本と異なり(東博本は「蘇州の織臣相瑞と織入しを予蔵せり」、末尾に「亦夏月雪降事多……」)と独自の詞書を3行ほど記す。
第27紙	39.6cm	27	ヘロキ図(ヘロキ写生)	○	○	7-3	絵の構図は東博本とほぼ同じだが、東博本よりやや水平に描写。詞書は東博本のものに加え、11行目「是檣麻呂の説にして亦唐太夷地にて……」から独自の詞書を記す。
第28紙	38.1cm	28	アツトシカル図(アッドシカル図)	○	○	4-7	東博本4-7の絵の中に、東博本4-9「アヤシノカル図」の海岸と砂浜で寝転ぶ2人の子どもの絵を加え、1場面として描写。詞書は東博本4-7、4-9と部分的に一致。
第29紙	38.6cm	29	カラフト 唐人居家図(西夷地居家之図)	○	○	4-3	絵の構図は東博本とほぼ同じ。詞書は東博本とやや異なる。
第30紙	39.3cm	30	熊を飼置図	○	x	※6-2	東博本6-2「熊祭踊図」のクマ檻の絵と近似。
		31	唐太宝器入置蔵之図	○	x	※5-2	東博本5-2「ベラシトミカモイ図」の高床蔵の絵と近似。
第31紙	39.3cm	32	イナホ之図(イナホ図)	○	○	5-4	絵の構図は東博本とほぼ同じだが、画面左に「常に用ゆる所の木幣如此形に製す」として別の形の木幣の絵を描写。詞書は本資料独自のもの(一部東博本に似ている)。
第32紙	※備考	33	陸奥国外の浜水鳥善知鳥之図	○	○	x	第32紙(料紙法量:12.4×18.0cm)と第33紙(料紙法量:12.4×10.5cm)は2枚継紙で巻子の上部に貼付(下部は場面34)。本資料独自の絵(善知鳥)と詞書を記す。
第33紙	※備考						
第34紙	※備考	34	松前近郷馬追ふ図	○	○	x	第34紙(料紙法量:14.0×28.3cm)は巻子の下部に貼付(上部は場面33)。本資料独自の絵(ウマとそれを操る男性の絵)と詞書を記す。
第35紙	30.3cm	35	南部二ノ戸郡之内末の松山の図生写	○	○	x	料紙縦25.6cm。本資料独自の絵(山道を描く風景画)と詞書を記す。
第36紙	39.9cm	36	唐太クシユンコタン之小図	○	○	x	本資料独自の絵(ルヲタカ付近の海岸をクジラ、クシユンコタンの海辺をカモメが群集)と詞書を記す。
第37紙	39.4cm	37	(昆布採図・昆布図)	○	○	10-8、10-9	東博本10-8の絵の一部(木皮衣を着る2人が乗る船の絵を除く)と東博本10-9の絵の一部(縄で結束するコンブの絵を除く)を描く。詞書は東博本10-8の冒頭(「続日本紀云……」を除く)と東博本10-9の詞書を記す(ただし、4~6行目に「津軽領外ヶ浜及夷地より唐太嶋待て少く産す」と加筆)。
第38紙	14.4cm	38	三厩之図	○	○	x	本資料独自の絵(画面手前に大泊・今別、三厩湊から宇鉄崎・竜飛崎までを描いた風景画。津軽海峡の対岸に松前山、箱館山も描く)と詞書を記す。
第39紙	41.2cm						
第40紙	34.0cm	39	(松前市中図)	○	○	※10-2	絵の構図は東博本10-2「箱館市中図」の下半分に近い。詞書は「松前家作みな此通也、三厩辺また同作なり、壁なし、板也」と独自のものを記す。
第41紙	23.2cm	40	(松前土民賤女の図)	○	○	x	本資料独自の絵(髪を結び、化粧をし、編笠と鍬を持ち、木皮衣を着て、下駄を履く女性が海岸の崖に立つ絵)と詞書を記す。

第42紙	25.4cm	41	(農女図)	○	○	10-10	絵の構図は東博本とほぼ同じ。詞書は8行目の2文字目までは東博本とほぼ同じで(ただし冒頭は「松前近郷」からはじまる。東博本は「箱館松前近郷」)、それ以後は独自の詞書を記す。
第43紙	25.3cm	42	(松前婦女図)	○	○	※10-3	絵の構図は東博本10-3「箱館婦女図」とほぼ同じ。詞書は東博本10-3とよく似ているが、独自の詞書も加える。なお、東博本の詞書は冒頭「女子八市中村里とも……」からはじまるが、本資料は「女子」の前行に「松前」を加筆。
第44紙	36.4cm	43	唐太嶼 ^{カシケクロクチ} 之図(カシケクロクチ)	○	○	9-3	絵の構図は東博本とほぼ同じ。詞書は画面左の花の絵に「浜茄子」として説明を加える(東博本は「玫瑰花(マウタ)」と記すのみ)
第45紙	25.3cm	44	シウカルウシ図(エブリコ写生)	○	○	11-5	絵は東博本11-4「エトロウ島夷図」の木に生えるエブリコの絵と近似。詞書は東博本11-5とほぼ同じ(末尾に「亦唐太嶋二多産す」と加筆)。
第46紙	17.1cm	45	テレケアンバヤ図(タビドンベコルベ)	○	○	9-10	絵は東博本とほぼ同じ。詞書は5~6行目以外は東博本には見られない独自のもの。
第47紙	12.7cm	46	最上徳内常矩生像	○	×	×	絵は東博本7-7「ラシヤマンベ地図」に見られる和人2人の絵に近似。
第48紙	9.9cm	47	リイシリ島之図	○	○	×	リイシリ山(島)を描いた風景画と独自の詞書を記す。海岸に「梶原平馬隊此所二詰ル」とある。ほか山川賢隆と竹本勝直新左衛門が詠んだ和歌を記す。
第49紙	20.4cm						
第50紙	40.7cm						
第51紙	9.9cm						
第52紙	39.7cm	48	ヲロコ人之図	○	○	×	「ヲロコ人」2人を描いた絵と独自の詞書を記す。画面右下に「賢隆図」とある。
第53紙	38.8cm	49	(ケ子トブシ肖像)	○	○	11-11	絵の構図は東博本とほぼ同じ。詞書は東博本の前後に独自のものを若干加筆(末尾に「秦禮丸か記すに便て模写す」とある)。また、奥書として場面2とほぼ同じ詞書を記し、右傍に「山川賢隆」と記す。また、その左傍に「此巻をミテ 牧原直滋与一郎」として場面2と同様の牧原の和歌を記す。
第54紙	30.3cm	50	唐太帰帆之節七月十日蝦夷海中難風雨大連陰之図	○	×	×	本資料独自の絵(船が荒波に揉まれる絵)と詞書を記す。
第55紙	41.5cm						
摘要	<p>【体裁の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各場面は横41.5cm以内の料紙1枚ないしそれに紙を貼り合わせた継紙に描写されている。多くの場面は料紙の継ぎ目をまたいで描写されていない。したがって、料紙ごとに場面がまず描かれ、後に裏打ちして巻子に仕立てたものと推測される。 表装の台紙は黄色。裏面は雲母刷りの紙。 <p>【内容の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東博本に収録される場面と似た絵・詞書を持つ場面が多数収録されているが、本資料独自の場面も多く、『蝦夷島奇観』模写本というよりは、『蝦夷島奇観』の絵と詞書を仮託した別作品と言えるものである。 絵の構図や詞書の内容は、東博本とよく似たものが多い。よくある〈3巻本構成の模写本〉などと比べると、格段に東博本に近い。したがって本資料中に見られる東博本とよく似た場面は、楯丸の自筆本、もしくはそれを忠実に模写した作品から模写していると言える。 場面1の署名にある「源賢隆/山東雲」は、会津藩の和学方を務めた山川賢隆(号・東雲)のこと。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山川賢隆は、1808(文化5)年の会津藩のカラフト警備隊の一員として派兵され、函館市中央図書館所蔵の『唐太嶼奇観』は「約半年間における彼の地で見聞した風俗や地誌を、会津狩野派の画技をもって遠近法などを用いて忠実に写生し、解説文を添えた絵巻」と評価される(会津若松市研究会編 2006: 264-265)。 本資料によく似た場面構成を持つ作品として、國學院大学図書館所蔵の『唐太夷風俗図巻』(本稿176頁の調査番号20)、函館市中央図書館所蔵の『唐太島奇観』、学習院大学史料館保管の『唐太島民俗絵巻』などがある。以上の3点と比べると、収録場面数は本資料が圧倒的に多い。 <p>【関連文献】</p> <ul style="list-style-type: none"> 佐々木利和「阿部家文書のなかのアイヌ絵」『学習院大学史料館紀要』第10号、1999年 会津若松市研究会編『会津藩第七代藩主松平容衆年譜 付文化五年会津藩蝦夷地出陣関係史料』会津若松市、2006年 						



場面3



場面2

場面1



場面7



場面6



場面5

場面4



場面10



場面9



場面8



場面13



場面12



場面11



場面17



場面16



場面15

場面14



場面20



場面19



場面18



場面23



場面22



場面21



場面26



場面25



場面24



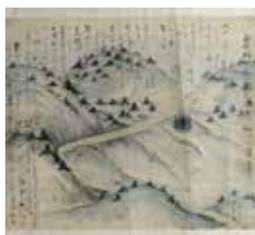
場面29



場面28



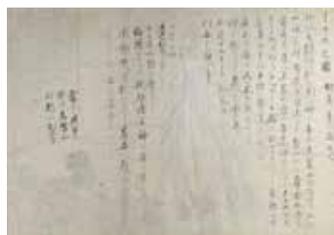
場面27



場面35



下：場面34、上：場面33



場面32



場面31

場面30



場面38



場面37



場面36



場面43



場面42



場面41



場面40

場面39



場面47



場面46

場面45

場面44



場面50



場面49



場面48



資料名	蝦夷國奇観		数量	1帖	形態	折本	所蔵	國學院大學図書館	所蔵番号	金田一文庫14	調査番号	18
法量	資料外形：(閉) 31.2×18.1cm											
註記	紙本著色、帖装、27丁、帙入り。金田一文庫(國學院大学北海道短期大学部保管)。											
構成	場面番号と画題		絵	詞書	東博本	備考						
表紙						題箋なし。表紙右上にラベル「金田一/文庫/14」貼付。左上にもラベル貼付あり。						
1才	見返					1才中央に朱方印「金田式藏書」。						
2才	1ウ	1	(序)	×	○	1-1	年記・署名「寛政十二年秋八月既望 泰熹丸」。1ウ右上に「國學院大學図書館印」の蔵書印。					
3才	2ウ	2	(目録)	×	○	×	目録として次の画題を記す：「蝦育郡島図」「蝦育由来マチ子カモ井図」「蝦育人図」「女育図」「文手図」「近蝦育地居家図」「奥蝦育地居家図」「弓矢鞆図」「舟図二并舟器」「婚礼図」「木皮布織図」「ウカリ稽古図」「アマグウ図」「育人見三ヶ月図」「チャハノボリ図」。					
4才	3ウ	3	蝦育郡嶋図(蝦夷諸島図)	○	○	1-3	絵(地図)は陸地部分に薄青系の着色(東博本は緑色系)。詞書は東博本とほぼ同じ。絵(地図)の構図は東博本と異なる(「カラフト」「エトロフ」などを左側、「ハコタテ」「マツマヘ」などを右側の向きで描写)。					
5才	4ウ	4	蝦育由来記 マチ子カモイ図(女神窟居図)	○	×	1-5	女神(マチ子カモイ)と漆器を画面中央に大きく描き、その左下にイヌや舟を描く。洞窟の描写なし。東博本と構図は異なるが、共通の要素を持つ絵。					
6才	5ウ	5	(女神窟居説)	×	○	1-6	東博本とよく似た詞書を記す。					
7才	6ウ	6	アイヌヲトナ 育人酋長図(男夷図)	○	×	1-7	画面左に鉛筆で「クナシリ酋長イコリカヤニ肖像酋長ドーキノイ三男」とあり。東博本の絵よりも恰幅よく描写された男性の絵。手の位置や持ち物、細部の描写などに東博本と相違あり。					
8才	7ウ		(男夷図の詞書)	×	○	1-7	東博本とはやや異なる詞書を記す。					
9才	8ウ	7	女育桂玉図(女夷図)	○	×	1-8	東博本とよく似た女性の絵。手の位置や髪型など細部の描写に東博本と相違あり。					
10才	9ウ		(女夷図の詞書)	×	○	1-8	冒頭1~8行に東博本1-7「男夷図」の詞書「日本紀曰……」を記す。続いて、東博本1-8の詞書とよく似た詞書を記す。					
11才	10ウ	8	女育文手図 竝 トエチセコツチャカモイ伝 (女夷文手説)	×	○	1-11	東博本とよく似た詞書を記す。					
12才	11ウ	9	女育文手図(女夷文手図)	○	×	1-10	東博本とよく似た絵を描く。袖口の描写に東博本と相違あり。手指の毛も細かく描写。					
13才	12ウ	10	近蝦育地居家図(近蝦夷地居家図)	○	○	4-2	東博本と構図は異なるが、共通の要素を持つ絵。					



場面4



場面3



場面1



場面7(絵)



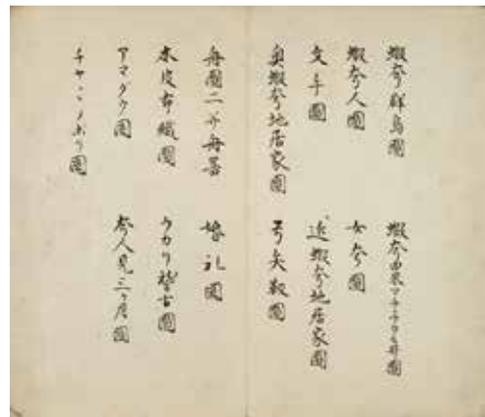
場面6(絵)



場面10



場面9



場面2

14才	13ウ	11	キイタツツ 育家図 クナシジ	○	○	×	東博本4-2「近蝦夷地居家図」の構図とやや似ている絵。家屋や蔵の屋根、玄関の形、祭壇などの描写に東博本と相違あり。詞書は本資料独自のもの。
15才	14ウ	12	育人住居図(家器宝械図)	○	○	4-4	画面の構図は東博本にやや似ているが、漆器や各種道具の配置や細部の描写に東博本と相違あり。家屋内の色調は薄茶色系で着色。
16才	15ウ	13	蝦 育 弓 矢 鞆 図 ソクク アイカエツブ	○	○	5-8	画面の構図は東博本とほぼ同じだが、細部の描写に東博本と相違あり。東博本にある「袖中抄曰……」の詞書はない。画面左の「ラルマニ」の絵と詞書も東博本と異なる。
17才	16ウ	14	(大舟図)	○	○	5-9	東博本とよく似た絵を描く。詞書は東博本とはやや異なる。
18才	17ウ	15	(舟図)	○	×	5-10	東博本に構図は似ているが、車権6本がタカマチに取り付いた状態で描写。詞書の記載はない。
19才	18ウ	16	(舟具図)	○	×	5-11	東博本の絵とほぼ同じ。東博本で言う「懸帆舟」の描写位置に東博本と相違あり。
20才	19ウ	17	マチコルノ図(マチコル図)	○	×	3-2	東博本とやや異なる構図の絵。
21才	20ウ	18	(マチコル説)	×	○	3-3	東博本とよく似た詞書を記す。
22才	21ウ	19	木皮布織図(アッドシカル図)	○	○	4-7	布織の絵の右に木の描写あり(東博本にある家屋の描写なし)。布織具の各部品に名称の記載あり。詞書は東博本と似ている。
23才	22ウ	20	ウカリ稽古図	○	×	3-8	東博本と構図の異なる絵。
24才	23ウ	21	ウカリ稽古ノ図	×	○	3-8	東博本とよく似た詞書を記す。
25才	24ウ	22	アマグウノ図	○	○	7-4	東博本と構図がやや異なる絵。東博本とやや異なる詞書を記す。
26才	25ウ	23	(育人見三ヶ月図(附録 見初月図))	○	○	7-13	東博本とよく似た構図の絵。細部の描写に東博本と相違あり。詞書は東博本とよく似ている。
27才	26ウ	24	祖 父 獄 図 チャノボリ	○	○	11-2	東博本と構図がやや異なる絵。詞書は東博本とよく似ている。
裏見返	27ウ						27ウに朱方印「金田弍蔵書」。裏見返に「金田一文庫 昭和五十年七月一日 14」の印。
裏表紙							
摘 要	<p>【体裁の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折帖仕立てであるが、台紙裏の端どうしが貼合している箇所がいくつか見られる。 <p>【内容の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵の細密さやクオリティは東博本と同等ないしそれ以上である。 ・「夷」を「育」と表記するのが本資料の特徴である。この表記は宮城教育大学図書館所蔵『蝦夷由来記』にも見られる。 ・筆蹟は、北海道大学附属図書館所蔵『臘臍臍乃総説』や国立公文書館所蔵『北夷分界余話』、函館市中央図書館所蔵『蝦夷嶋図説』などに見られるものによく似ている。 ・収録場面(構成)は東京大学史料編纂所所蔵『蝦夷島奇観稿本写』や宮城教育大学図書館所蔵『蝦夷由来記』によく似ている。 						



場面14



場面13



場面12



場面11



場面19



場面17



場面16



場面15



場面24



場面23



場面22



場面20

資料名	蝦夷島奇観		数量	10帖	形態	折本	所蔵	國學院大學図書館	所蔵番号	金田一文庫45	調査番号	19
法量	資料外形：(閉) 28.7×21.3cm											
註記	紙本着色、卷子装(裏打あり)。表紙中央上部に題箋貼付。題箋法量：17.7×3.6cm。 金田一文庫(國學院大学北海道短期大学部保管)。											
構成	場面番号と画題						絵	詞書	東博本	備考		
壹 (13丁)												
表紙										中央上部に題箋貼付「蝦夷島奇観 壹」。右上にラベル「金田一/文庫/45(1)」貼付。		
1オ	見返									見返白紙。 1オに墨書「秦 徳麻呂 編輯」。		
2オ	1ウ	1	(序)		×	○	1-1			1ウ右上に朱方印(國學院大學の蔵書印)あり。 款記「寛政十二年秋七月既望 秦徳麻呂述」。		
3オ	2ウ	2	蝦夷群嶋図(蝦夷諸島図)		○	○	1-3			筆蹟異筆。地図の向きが東博本と逆(北を画面下、南を画面上に描写)。詞書は東博本とほぼ同じ。		
4オ	3ウ	3	(造神島図)		○	○	1-4			筆蹟異筆。絵の構図は東博本と似ているが細部の描写などに相違あり。詞書は東博本とほぼ同じ。		
5オ	4ウ	4	(男夷図)		○	○	1-7			東博本より恰幅のよい男性の絵。手の位置、持ち物、その他細部の描写に東博本と相異あり。詞書は東博本と似ている。		
6オ	5ウ	5	(女夷図)		○	○	1-8			絵は、手の位置、持ち物、その他細部の描写に東博本と相異あり。詞書は東博本と似ている。		
7オ	6ウ	6	女夷文手図(女夷文手図・女夷文手説)		○	○	1-10、1-11			絵と詞書を同一場面に描く。指のシワ、袖口の形など細部の描写に東博本と相異あり。詞書は東博本と似ている。		
8オ	7ウ	7	(シャバウベ図)		○	○	1-9			東博本と似た絵、詞書を記す。		
9オ	8ウ	8	(シトキ図)		○	○	1-12			玉の色が薄緑色(東博本は薄青色)。東博本と似た絵、詞書を記す。		
10オ	9ウ	9	近蝦夷地居家図		○	○	4-2			東博本と似た構図の絵(細部の描写に相異あり)。詞書も東博本とよく似ている。		
11オ	10ウ	10	西夷地居家の図		○	○	4-3			東博本と似た構図の絵(細部の描写に相異あり)。東博本と似た詞書だが、廁やクマ檻の説明なし。		
12オ	11ウ	11	(家器宝械図)		○	○	4-4			東博本と似た構図の絵(細部の描写に相異あり)。詞書も東博本と似ている。		
13オ	12ウ	12	グウアイカエツツ弓矢鞞図		○	○	5-8			東博本と似た構図の絵(細部の描写に相異あり)。詞書も東博本と似ている。		
裏見返	13ウ									13ウ左下に「金田一文庫 昭和五十年七月一日45(1)」の印。		
裏表紙												
貳 (13丁)												
表紙										中央上部に題箋貼付「蝦夷島奇観 貳」。右上にラベル「金田一/文庫/45(2)」貼付。		
1オ	見返									1オに「秦 徳麻呂 編輯」と墨書あり。		
2オ	1ウ	13	マチコル(マチコル図・マチコル説)		○	○	3-2、3-3			1ウ右上に朱方印(國學院大學の蔵書印)あり。 絵と詞書を同一場面に描く。絵も詞書も東博本と似ている(細部の描写に相異あり)。		
3オ	2ウ	14	(飲酒図)		○	○	3-4			東博本と似た構図の絵、詞書を記す。		
4オ	3ウ	15	タフカリ(タフカリ図)		○	○	3-5			東博本と似た構図の絵、詞書を記す。		
5オ	4ウ	16	エモシ(エモシ図)		○	○	5-5			東博本と似た構図の絵(ただし、下の刀には刀身の描写あり)、詞書を記す。		
6オ	5ウ	17	ウカリ稽古ノ図		○	○	3-8			東博本とやや構図の異なる絵。東博本よりもやや長い詞書を記す。		
7オ	6ウ	18	ウカリ図(ウカリ真行図)		○	×	3-9			東博本と似た構図の絵(左の人物は4人、東博本は6人)。詞書の記載なし。		
8オ	7ウ	19	シユマイタンギ(古陶器図)		○	○	×			4つの古陶器(土器)の絵と詞書。下段中央の「モロランより掘出す」の絵のみ東博本5-13「古陶器図」にあり。その他3つの絵は東博本になし。詞書は東博本にはない独自のもの。		
9オ	8ウ	20	其二(古陶器図其二)		○	○	×			3つの古陶器(土器)の絵。右の「シリサワベより掘出す」の絵のみ東博本5-13「古陶器図」にあり。		
10オ	9ウ	21	其三(古陶器図其三)		○	○	×			2つの古陶器(土器)の絵。右の絵は東博本5-13「古陶器図」に似た絵あり(ただし詞書が異なる)。		
11オ	10ウ	22	(石刀石劔鐵石図)		○	○	5-12			東博本と似た構図の絵、詞書を記す(細部の描写に相異あり)。		
12オ	11ウ	23	(ラッコ図)		○	○	11-10			東博本と似た構図の絵、詞書を記す(ラッコの毛の描写に相異あり)。		
13オ	12ウ	24	(ケ子トブシ肖像)		○	○	11-11			東博本と似た構図の絵、詞書を記す。		
裏見返	13ウ									裏見返右下に「金田一文庫 昭和五十年七月一日45(2)」の印。		
裏表紙												
参 (13丁)												
表紙										中央上部に題箋貼付「蝦夷島奇観 参」。右上にラベル「金田一/文庫/45(3)」貼付。		
1オ	見返									1オに「秦 徳麻呂 編輯」と墨書あり。		
2オ	1ウ	25	ちやへノボリ祖父獄図		○	○	11-2			1ウ右上に朱方印(國學院大學の蔵書印)あり。 東博本と似た構図の絵、詞書を記す。		

3才	2ウ	26	(鏡岩図)	○	○	11-3	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
4才	3ウ	27	(エトロロー島夷図)	○	○	11-4	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
5才	4ウ	28	モロチキナ(モロチキナ写生)	○	○	11-6	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
6才	5ウ	29	テンキ(テンキ図)	○	○	11-7	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
7才	6ウ	30	シウカルウシ(エブリコ写生)	○	○	11-5	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
8才	7ウ	31	病衆	○	○	2-6	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
9才	8ウ	32	(ヲチュエ図)	○	○	2-7	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
10才	9ウ	33	其二(ヲチュエ図其二(家焼却))	○	○	2-8	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。炎や漆器の描写など細部に東博本と相異あり。
11才	10ウ	34	其三(ヲチュエ図其三(メッカウチ))	○	○	2-9	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。刀鞘に赤色系の着色あり。背景の山や地面の草の描写なし。
12才	11ウ	35	西夷地墓	○	○	2-11	東博本と似た構図の絵を描く。木幣への白色系の着色が薄く、線に着色がない。
13才	12ウ	36	其四東地男夷墓女夷墓(墓図)	○	○	2-10	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
裏見返	13ウ						裏見返右下に「金田一文庫 昭和五十年七月一日45(3)」の印。
裏表紙							
四(6丁)							
表紙							
1才	見返						中央上部に題箋貼付「蝦夷嶋奇観 四」。右上にラベル「金田一/文庫/45(4)」貼付。
1才	見返						1才に「秦 徳麻呂 編輯」と墨書あり。
2才	1ウ	37	(熊祭踊図)	○	○	6-2	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。画面左に裸の子どもが描かれ、赤の首飾りを付けた女性も踊っているなど細部の描写に東博本と相異あり。
3才	2ウ	38	(熊祭花矢射図)	○	○	6-3	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。有力者の着物の着色や子どもの位置など細部の描写に東博本と相異あり。
4才	3ウ	39	(熊祭挾殺図)	○	○	6-4	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。ただし丸太が3本、刀鞘に赤色系の着色があるなど、細部の描写に東博本と相異あり。
5才	4ウ	40	(熊祭神酒飲図)	○	○	6-5	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。ただし祭壇の木幣の形、着物の文様・着色など細部の描写に東博本と相異あり。
6才	5ウ	41	(熊祭酒宴図)	○	○	6-6	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。ただし着物の文様・着色、画面右のゴザ上の漆器や人物配置など細部の描写に東博本と相異あり。
裏見返	6ウ						裏見返右下に「金田一文庫 昭和五十年七月一日45(4)」の印。
裏表紙							
五(13丁)							
表紙							
1才	見返						中央上部に題箋貼付「蝦夷嶋奇観 五」。右上にラベル「金田一/文庫/45(5)」貼付。
1才	見返						1才に「秦 徳麻呂 編輯」と墨書あり。
2才	1ウ	42	(ヲンカミ図)	○	○	2-2	1ウ右上に朱方印(國學院大學の蔵書印)あり。東博本と似た構図の絵、詞書を記す。着物の文様、着色、髪色などの細部の描写に東博本と相異あり。
3才	2ウ	43	其二(ヲンカミ図其二(列座))	○	○	2-3	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。着物の文様、着色、髪形などの細部の描写に東博本と相異あり。中央の人物も木皮衣を着用。
4才	3ウ	44	(ヲンカミ図其三(ウリリ))	○	○	2-4	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。腰にマキリの描写なし。
5才	4ウ	45	(ヲンカミ図其四(女夷礼))	○	○	2-5	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。髪形、腰マキリの有無など細部の描写に東博本と相異あり。
6才	5ウ	46	(絃絃図)	○	○	3-7	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。楽器を弾く男性はやや左向きに描写。ランヌマニやモセキナは東博本よりも画面上に描写し、詞書をその下に記す。
7才	6ウ	47	(トカリ)	○	○	9-4	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
8才	7ウ	48	(捕鷺図)	○	○	7-5	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
9才	8ウ	49	シイベ(衝鮭図)	○	○	7-6	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。木を東博本より大きく描写。対岸の描写なし。
10才	9ウ	50	(唐太島夷図)	○	○	12-2	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。細部の描写に東博本と相異あり。地面の描写あり。
11才	10ウ	51	(蝦夷錦図)	○	○	x	東博本にない絵と詞書を記す。
12才	11ウ	52	カラフト島酋長墓(男夷墓)	○	○	12-7	東博本と似た構図の絵。墓の上部や側面に薄黒色系の着色。
13才	12ウ	53	同女子墓(女夷墓)	○	○	12-8	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。墓に薄黒色系の着色があり、地面に花を付けた枝の描写あり。
裏見返	13ウ						裏見返右下に「金田一文庫 昭和五十年七月一日45(5)」の印。
裏表紙							
六(9丁)							
表紙							
1才	見返						中央上部に題箋貼付「蝦夷嶋奇観 六」。右上にラベル「金田一/文庫/45(6)」貼付。
1才	見返						1才に「秦 徳麻呂 編輯」と墨書あり。
2才	1ウ	54	(オットセイ獵準備図)	○	○	8-2	東博本とやや構図の異なる絵を描く。家屋の玄関や船の位置など細部の描写に東博本と相異あり。詞書あり(東博本になし)。

3オ	2ウ	55	(オットセイ銚突図)	○	○	8-3	2ウ右上に朱方印(國學院大學の蔵書印)あり。東博本と似た構図の絵を描く。鉤銚の描写なし。詞書あり(東博本になし)。
4オ	3ウ	56	(とり獲て家に帰る図)	○	○	8-4	東博本とやや構図の異なる絵。手前の家屋に玄関、窓の上方にゴザ、オットセイを持つ裸の子どもの描写があり、鉤銚を持つ男性の描写がないなど、東博本と相異あり。詞書は東博本と若干異なる。
5オ	4ウ	57	(獲来て会所に出す図)	○	○	8-5	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。ただし、オットセイを玄関先で検分するなど、細部の描写に東博本と相異あり。
6オ	5ウ	58	海狗腎	○	○	8-7	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
7オ	6ウ	59	(オットセイ浮睡図)	○	○	8-8	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。水鳥の位置やオットセイの海上での浮遊面積などに東博本と相異あり。
8オ	7ウ	60	塩製になしたる図	○	×	8-6	東博本と左右逆向きの構図の絵。詞書(画題)は同じ。
9オ	8ウ	61	ヲ、子ツブ図	○	×	8-9	東博本と左右逆向きの構図の絵。詞書(画題)は同じ。
裏見返	9ウ	62	(オットセイ猟総説)	○	○	8-1	東博本とほぼ同じ詞書を記す。9ウに詞書、裏見返は白紙。裏見返右下に「金田一文庫 昭和五十年七月一日45(6)」の印。
裏表紙							
七(14丁)							
表紙							
1オ	見返						中央上部に題箋貼付「蝦夷嶋奇観 七」。右上にラベル「金田一/文庫/45(7)」貼付。 1オに「秦 徳麻呂 編輯」と墨書あり。
2オ	1ウ	63	(ベラトシミカモ図并)	○	○	5-2	1ウ右上に朱方印(國學院大學の蔵書印)あり。東博本と似た構図の絵、詞書を記す。木など細部の描写に東博本と相異あり。
3オ	2ウ	64	(トモチクシ地図)	○	○	7-12	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。細部の描写に東博本と相異あり。
4オ	3ウ	65	(エリモ寄図)	○	○	7-10	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。陸上のシカの描写頭数が東博本より多い。
5オ	4ウ	66	(ニヨエン図)	○	○	3-10	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。刀鞘に赤色系の着色があるなど、細部の描写に東博本と相異あり。
6オ	5ウ	67	(イケマ図)	○	○	9-6	葉形に東博本と相異あり。東博本と似た詞書。
7オ	6ウ	68	(大舟図)	○	○	5-9	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。船の板の陰影、陸地の有無など細部の描写に東博本と相異あり。詞書の内容は東博本と同じだが、叙述の順番が若干異なる。
8オ	7ウ	69	(舟図)	○	×	5-10	東博本と似た構図の絵を描く。タカマチに取り付いた車權が2本のみ描写(東博本は描写なし)。詞書なし(東博本はあり)。
9オ	8ウ	70	(舟具図)	○	○	5-11	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
10オ	9ウ	71	カシケクロクチ	○	○	9-3	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。「玫瑰花(マウタ)」の語なし(東博本にあり)。
11オ	10ウ	72	(附録 見初月図)	○	○	7-13	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。陸地の描写あり。三日月の向きが東博本と逆。
12オ	11ウ	73	(ニカップを剥図)	○	○	4-6	東博本と似た構図の絵を描く。画面中央に「ニカップ葉写生」の絵を描写(東博本は4-8「ニカップ枝葉写生」として枝葉を描写)。詞書は東博本4-6と4-8を混合したような独自のもの。
13オ	12ウ	74	(アッドシカル図)	○	○	4-7	東博本と異なる構図の絵を描く(背景描写なし。向きが左右逆。織機に部分名称の記載あり)。詞書は東博本とやや異なる。
14オ	13ウ	75	(アヤシノカル図)	○	○	4-9	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
裏見返	14ウ						裏見返右下に「金田一文庫 昭和五十年七月一日45(7)」の印。
裏表紙							
八(12丁)							
表紙							
1オ	見返						中央上部に題箋貼付「蝦夷嶋奇観 八」。右上にラベル「金田一/文庫/45(8)」貼付。 1オに「秦 徳麻呂 編輯」と墨書あり。
2オ	1ウ	76	(イナホ図)	○	○	5-4	1ウ右上に朱方印(國學院大學の蔵書印)あり。東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
3オ	2ウ	77	アヨッペ(アヨウヘ図)	○	○	5-6	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
4オ	3ウ	78	チヤシ(チヤシ図)	○	○	5-7	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
5オ	4ウ	79	(サイモン図)	○	○	3-11	東博本と構図は似ているが、地面や囲炉裏、炎などが描かれ、人物も5人描写(東博本は3人)。詞書は東博本と似ている。
6オ	5ウ	80	コリコニ	○	○	9-7	東博本とやや異なる構図の絵。詞書も東博本とやや異なる。
7オ	6ウ	81	(ヲシヤマンベ地図)	○	○	7-7	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
8オ	7ウ	82	(ウスノボリ地図)	○	○	×	「ウスノボリ」(有珠山)とその麓の阿弥陀堂、善光寺、会所などを描く風景画。絵も詞書も本資料独自のもの。

9オ	8ウ	83	アマグウ(アマグウ図)	○	○	7-4	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
10オ	9ウ	84	パシクル(鳥図)	○	○	11-8	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。薄墨系の着色(東博本より色が薄い)。
11オ	10ウ	85	(黒狐図)	○	○	11-9	東博本とやや構図の異なる絵。詞書もやや異なる。
12オ	11ウ	86	(イドビルカチカップ)	○	○	9-2	東博本と似た構図の絵、詞書を記す。
裏見返	12ウ						裏見返右下に「金田一文庫 昭和五十年七月一日45(8)」の印。
裏表紙							
九(11丁)							
表紙							
1オ	見返						中央上部に題箋貼付「蝦夷嶋奇観 九」。右上にラベル「金田一/文庫/45(9)」貼付。 1オに「秦 徳麻呂 編輯/松本義通 参補」と墨書あり。
2オ	1ウ	87	松前市中図(松前奥地図)	○	×	13-1	東博本と似た構図の絵。
3オ	2ウ	88	江刺地図(江差奥地図)	○	×	13-5	東博本と似た構図の絵。
4オ	3ウ	89	寛政十年四月箱館密観写真	○	×	×	東博本13-3(箱館奥地図)と似た構図の絵だが、「御役宅」「南部家番所」などの描写がなく、本資料独自の絵と言える。
5オ	4ウ	90	享和年間箱館地図(箱館奥地図)	○	×	13-3	東博本と似た構図の絵。
6オ	5ウ	91	(松前奥説・箱館奥説)	×	○	13-2、13-4	東博本13-2「松前奥説」と13-4「箱館奥説」の詞書の内容を含んだ詞書を記す。「享和二年春新庁所修造荘麗として箱館奉行を置、東蝦夷地の鎮護とす、市中東西拾九丁廿間」とあるのが記事の下限(東博本は「文化四年 命ありて封を奥州伊達郡築川に遷さる」)。
7オ	6ウ						
8オ	7ウ						
9オ	8ウ						
10オ	9ウ						
11オ	10ウ						裏見返右下に「金田一文庫 昭和五十年七月一日45(9)」の印。
裏表紙							
十(13丁)							
表紙							
1オ	見返						中央上部に題箋貼付「蝦夷嶋奇観 拾」。右上にラベル「金田一/文庫/45(10)」貼付。 1オに「秦 徳麻呂 編輯」と墨書あり。
2オ	1ウ	92	箱館市中図	○	×	10-2	東博本と似た構図の絵。
3オ	2ウ	93	(箱館婦女図)	○	○	10-3	東博本と似た構図の絵と詞書を記す。着物の描写などに東博本と相異あり。
4オ	3ウ	94	(すりかみ図)	○	○	10-4	東博本と似た構図の絵と詞書を記す。
5オ	4ウ	95	(農女図)	○	○	10-10	東博本と似た構図の絵と詞書を記す。
6オ	5ウ	96	(モチブ図)	○	○	10-7	東博本と似た構図の絵と詞書を記す。
7オ	6ウ	97	(昆布採図)	○	○	10-8	東博本と似た構図の絵と詞書を記す。
8オ	7ウ	98	(昆布図)	○	○	10-9	東博本と似た構図の絵と詞書を記す。
9オ	8ウ	99	(古碑図)	○	○	10-6	東博本と似た構図の絵と詞書を記す。
10オ	9ウ	100	(土桶図)	○	○	10-11	東博本と似た構図の絵と詞書を記す。東博本10-12の詞書冒頭5行「日本紀曰……」を末尾に記す。
11オ	10ウ	101	(ホインガル肖像)	○	○	10-12	東博本と似た構図の絵と詞書を記す。ホインガルは足元まで描写(東博本は足元部分はない)。詞書冒頭にはホインガルの説明が2行ほど追加され、東博本にある「日本紀曰……」の部分の記載なし。
12オ	11ウ	102	(古陶器図)	○	○	10-5	東博本と似た構図の絵と詞書を記す。
13オ	12ウ	103	(へロキ写生)	○	○	7-3	東博本と似た構図の絵と詞書を記す。ニシンの角度は東博本よりも傾斜が緩い。
裏見返	13ウ						裏見返右下に「金田一文庫 昭和五十年七月一日45(10)」の印。
裏表紙							
<p>【体裁の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折帖仕立ての10巻構成で、やや厚手の紙を料紙としている。 <p>【内容の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各巻の冒頭に「秦徳麻呂 編輯」とあり、第9巻のみ「秦徳麻呂 編輯/松本義通 参補」とある。 ・詞書の筆蹟は、場面2と場面3のみ異筆で、その他の場面は全て同筆である。 ・場面2と場面3を除く詞書の筆蹟は、函館市中央図書館所蔵の『大日本国陸奥州駅路図』(秦徳丸の作品とされる)のものに似ている。 ・絵の細密さやクオリティは東博本と同等ないしそれ以上である。 ・第4巻収録の場面(東博本で言う「熊祭部」に相当)は、絵の構図や着物の文様、着色などの描写が、東博本よりも北海道立図書館所蔵の『アイヌ画譜 上』の方が近い。 ・東博本に本資料独自の場面は、場面19、場面20、場面21、場面51、場面82、場面89の6場面である。 ・逆に本資料に収録されていない東博本の場面は、場面29(3-6)カ写生図、場面39(4-5)古椀図、場面42(4-8)ニカップ枝葉写生(ただし葉の絵は場面73にあり)、場面46(5-3)ペラシトミカモイ写生、場面56(5-13)古陶器図、場面57(5-14)古陶器図其二、場面58(5-15)古陶器図其三 附雷斧、場面66(7-2)鮭漁図、場面72(7-8)カヤヘノホリ図、場面73(7-9)エシヤニノホリ図、場面75(7-11)シノタイ地図、場面87(8-10)本草綱目からの引用、場面92(9-5)チシュキナ写生、場面95(9-8)アムラクル、場面96(9-9)シリキトップ図、場面97(9-10)タビドンペコルベ、場面98(9-11)ソイ、場面99(9-12)アブラコ写生、場面100(9-13)キナポー、場面126(12-3)シラヌシ地図、場面127(12-4)使犬引舟図、場面128(12-5)判官岬図、場面129(12-6)カラフト椀図の22場面である(目録場面を除く)。とりわけ、東博本の第9巻「写生部」と第12巻「唐大部」に多い。 ・場面82にウス善光寺が描かれ、詞書に「文化二年春大白山善光寺道場院建開山、荘海大和尚是蝦夷地仏法弘道の始なり」とあることから、本資料は1805(文化2)年以後の成立である可能性が高い。また、場面91の記事の下限は1802(享和2)年であり、これに相当する詞書を有する東博本の記事の下限が1807(文化4)年(松前藩への梁川転付通知は3月22日)である。なお、善光寺の住職・荘海和尚は1805(文化2)年に善光寺へ向かう途中の函館で病死し、開山式は翌年に行われたことから、その情報が反映されていない本資料の成立年代は、1805(文化2)年である可能性が高いと言える。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐々木利和「『蝦夷島奇観』について」谷澤尚一・佐々木利和編『秦徳麻呂 蝦夷島奇観』(雄峰社、1982年)のなかで、B類本・東京・某家本として紹介されているものと場面構成が同じであることから、本資料と同一のものと推測される。 							



場面4



場面3



場面2



場面1



場面8



場面7



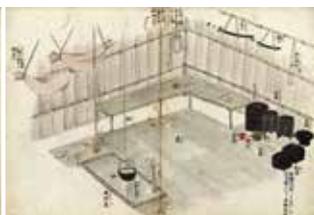
場面6



場面5



場面12



場面11



場面10



場面9



場面16



場面15



場面14



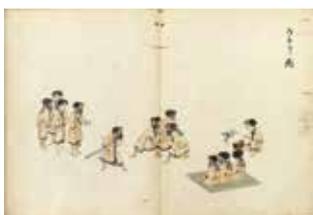
場面13



場面20



場面19



場面18



場面17



場面24



場面23



場面22



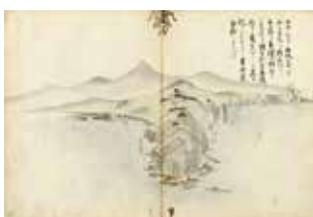
場面21



場面28



場面27



場面26



場面25



場面32



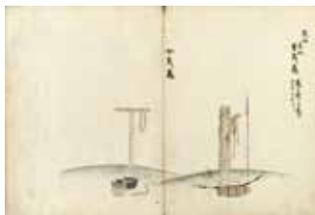
場面31



場面30



場面29



場面36



場面35



場面34



場面33



場面40



場面39



場面38



場面37



場面44



場面43



場面42



場面41



場面48



場面47



場面46



場面45



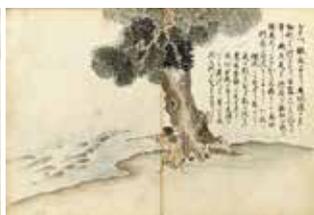
場面52



場面51



場面50



場面49



場面56



場面55



場面54



場面53



場面60



場面59



場面58



場面57



場面64



場面63



場面62



場面61



場面68



場面67



場面66



場面65



場面72



場面71



場面70



場面69



場面76



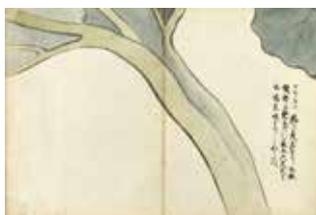
場面75



場面74



場面73



場面80



場面79



場面78



場面77



場面84



場面83



場面82



場面81



場面88



場面87



場面86



場面85



場面91-2



場面91-1



場面90



場面89



場面91-6



場面91-5



場面91-4



場面91-3



場面95



場面94



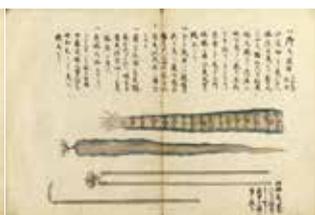
場面93



場面92



場面99



場面98



場面97



場面96



場面103



場面102



場面101



場面100

資料名	唐太夷風俗図巻		数量	1巻	形態	卷子本	所蔵	國學院大學図書館	所蔵番号	金田一文庫63	調査番号	20	
法量	本紙縦27.0cm 巻径：6.5cm、軸長：29.0cm、軸径：2.0cm												
註記	紙本着色、卷子装（裏打あり）。題箋：13.9×2.0cm、「唐太夷風俗圖巻」。 金田一文庫（國學院大学北海道短期大学部保管）。												
構成		場面番号と画題					絵	詞書	東博本	備考			
表紙												題箋「唐太夷風俗圖巻」。	
見返	23.8cm											見返の法量は八双を含む。	
第1紙	39.9cm	1	唐太嶋着船之図			○	×	×	料紙端上に朱方印（國學院大學の蔵書印）、端裏下に印「金田一文庫／昭和五十年七月一日／63」あり。 大型船2艘と小型船1艘が着船する様子を描く。背景の陸地・海岸の形は東博本12-3「シラヌシ地図」に似ている。				
第2紙	41.7cm	2	唐太嶋夷人之図（男夷図・女夷図）			○	○	1-7、1-8	東博本と似た絵と詞書を記す。男性の頭の冠や女性の首飾りの器、手に何も持っていないなど細部の描写に東博本と相違あり。手の位置も異なる。				
第3紙	41.0cm	3	（カラフト隴夷人之図）			○	○	×	アザラシ皮の服、脚絆、靴を身につけ、口にキセルをくわえた男性の絵、木皮衣、アザラシ皮の脚絆、靴を身につけ、縄で括り付けた荷物を頭上に背負った男性の絵、毛皮を身につけ、魚の切り身を手に持ち、赤ん坊を背中に背負った女性の絵の3人の人物を描く。				
第4紙	37.6cm	4	唐太クシユンコタン小図			○	○	×	本資料独自の絵（ルヲタカ付近の海岸をクジラ、クシユンコタンの海辺をカモメが群集）と詞書を記す。				
第5紙	39.2cm	5	（唐太島夷図）			○	○	12-2	イヌ2頭が船（2人乗船）を牽く絵の描写あり（東博本12-2と異なる絵。東博本12-4「使犬引船図」の絵とも構図が異なる）。 詞書は東博本にほぼ同じだが、途中14行目「一、文化五辰年間宮某林蔵に命して山丹の境に至らしむ」の2行が東博本と異なり（東博本は「蘇州の織臣相瑞と織入しを予蔵せり」）、末尾に「又夏月雪降事多……」と独自の詞書を4行ほど記す。				
第6紙	38.9cm	6	（構武之図）			○	×	×	鍛錬の様子を上役が実見する様子を描いた絵。画面の左右に会津葵の入った白い幔幕が描かれ、画面上部にも弓矢や剣の稽古をする様子が描かれている。				
第7紙	19.8 36.3 =56.1cm	7	（於唐太日向隊操練之図）			○	×	×	会津藩の日向隊の陣形の様子を描いた絵。画面左上には、会津藩の「軍将」や「公儀御役人衆」「山岡伝十郎殿」、「荒井平兵衛殿」も描かれている。				
第8紙	39.7cm	8	唐太人拝礼之図（ヲムシヤ拝礼之式図）			○	○	×	会津藩士がアイヌの有力者たちに対しオムシヤを行う場面を描いた絵。「家老北原采女夷人に酒を吞ずる図」と詞書あり。				
第9紙	35.3cm	9	（ヲンカミ図）			○	○	2-2	右へ向かって進むように描写（東博本は左向き）。 着物の描写は東博本と異なり、アイヌ有力者は3人とも小袖を着用。詞書は東博本にほぼ同じ。				
第10紙	37.2cm	10	其二（ヲンカミ図其二（列座））			○	○	2-3	中央の人物は木皮衣を着用。中央と右の人物の木皮衣の肩部分に文様の描写あり。そのほか、細部の描写に相違は見られるものの、絵の構図や詞書は東博本にほぼ同じ。				
第11紙	37.4cm	11	飲酒 イクチケンベ図			○	○	3-4	ゴザの描写なし。飲酒に加わる人物は8人（東博本は7人）。画面左に東博本6-3「熊祭挾殺図」の画面左に見られる裸の子どもとその手を引く女性の絵、画面右下に東博本3-9「ウカリ真行図」に見られる3人のゴザ上に座る男性（ただし本場面にゴザの描写はない）が描写。詞書は東博本にほぼ同じ。				
第12紙	37.4cm	12	其二（熊祭酒宴図）			○	○	6-6	ゴザ上に和人2人の描写なし（代わりに小袖を着用したアイヌ有力者が描写）。画面右の漆器を持つ人の右の2人（うち子ども1人）とゴザ上の漆器の描写なし。詞書は「酒吞酔面赤成」（アイヌ語併記）とあるのみ（東博本と相異あり）。				
第13紙	37.3cm	13	其三（ヲンカミ図其三（ウリリ））			○	○	2-4	画面右の手を取り合う男女の腰にマキリの描写なし。そのほか、細部の描写に相違は見られるものの、絵の構図や詞書は東博本にほぼ同じ。				
第14紙	22.1cm	14	其四（ヲンカミ図其四（女夷礼））			○	○	2-5	腰にマキリ、手に入墨の描写なし。そのほか、細部の描写に相違は見られるものの、絵の構図や詞書は東博本にほぼ同じ。				
第15紙	44.0cm	15	アツシカル図（アツシカル図・アヤシノカル図）			○	○	4-7、4-9	東博本4-7の絵の中に、東博本4-9「アヤシノカル図」の海岸と砂浜で寝転ぶ2人の子どもの絵を加え、1場面として描写。詞書は東博本4-7、4-9と部分的に一致。				
第16紙	37.5cm	16	タフカリ図			○	○	3-5	踊る人10人（東博本は9人）は全員が木皮衣を着用（東博本は小袖、鳥羽衣などさまざま）。画面左右のゴザ上の漆器の描写がなく、代わりに裸の子どもや赤ん坊を背負う人の描写あり（※東博本には見られないが、北海道立図書館所蔵『アイヌ画譜上』の（熊祭踊図）や（熊祭花矢射図）に見られる絵）。詞書は東博本のをベースに独自のものを加えて記述。				

第17紙	36.9cm	17	造 婦 コルマチ図	○	○	3-2	東博本に似た構図の絵。詞書は1行のみ(東博本は3-3「マチコル説」に24行の詞書あり)。
第18紙	36.5cm	18	(サイモン図)	○	○	3-11	人物描写は5人(東博本は3人)。床のゴザや囲炉裏の背景描写あり(東博本はなし)。詞書は東博本にほぼ同じ。
第19紙	36.5cm	19	ヘロキ図(ヘロキ写生)	○	○	7-3	絵の構図は東博本とほぼ同じだが、東博本よりやや水平に描写。詞書は東博本とほぼ同じ。
第20紙	37.4cm	20	テレケアンバヤ図(タビドンベコルベ)	○	○	9-10	絵の構図は東博本とほぼ同じだが、背景描写に相違あり。詞書は東博本より短い。
第21紙	37.5cm	21	唐太島嵐之図(カシケクロクチ)	○	○	9-3	絵の構図は東博本とほぼ同じ。詞書は画面左の花の絵に「浜茄子」として説明を加える(東博本は「玫瑰花(マウタ)」と記すのみ)
第22紙	84.9cm	22	リイシリ島之図	○	○	x	リイシリ山(島)を描いた風景画と独自の詞書を記す。和歌2首を記し、画面左の和歌の右傍に「勝直/絵を見てよめる」とある。
第23紙	36.6cm	23	死人をとりおきする図(ヲチュエ図(葬礼図))	○	○	2-7	床上のゴザと人物2名などの描写なし。詞書は東博本と異なり、「袖中抄目……」としてその引用文のみを記す。
第24紙	35.2cm	24	ヲチュエ(ニヨエン図)	○	○	3-10	東博本3-10の絵が描写(ただし背景描写なし)。詞書の前半は東博本2-7「ヲチュエ図(葬礼図)」、後半は東博本3-10「ニヨエン図」と似ている。
第25紙	37.5cm	25	唐人夷人漁舟漕出図	○	○	x	2人が海上を船で漕ぐ様子を描いた絵。絵の構図は東博本8-3(オットセイ鉢突図)と似ている(船上で鉢を持つ男性や海上に浮かぶオットセイや水鳥の描写はない)。詞書は「胡沙(コサ)吹」として独自のものを記す。
第26紙	35.9cm	26	シイベ(衝鮭図)	○	○	7-6	大木や対岸の描写はないが、東博本7-6の絵に構図が似ている。東博本の詞書に続いて、9行目「此地鱒魚殊に多し、ルヲタカ辺……」と独自の詞書を記す。
第27紙	37.4cm	27	(鼓絃図)	○	○	3-7	ゴザ上で五絃琴を弾く絵のみ描写(ランヌマニ写生、モセキナ写生の絵なし)。詞書は冒頭1行のみ東博本と似ているが、「澤田名垂か絵をよめる」に続き和歌を記す。
		28	弓矢の図	○	○	5-8	弓矢が画面左上から中央下へ斜めに描写され、矢筒や「ラルマニ写生」の描写なし。弓矢の描写は東博本よりも簡素。「最上徳内常矩ノ伝」など独自の詞書も記す。
第28紙	44.2cm	29	女夷手文図(女夷文手図・女夷文手説)	○	○	1-10、1-11	東博本と似た構図の絵、詞書を記す(ただし絵と詞書を同一場面に描写)。
第29紙	35.7cm	30	イナホ之図(イナホ図)	○	○	5-4	絵の構図は東博本とほぼ同じだが、画面左に「常に用ゆる所の木幣如図」として別の形の木幣の絵を描写。詞書は本資料独自のもの(一部東博本に似ている)。
第30紙	37.8cm	31	唐人居家之図(西夷地居家之図)	○	○	4-3	東博本と似た構図の絵(ただし、玄関の形や家屋表面の着色などが東博本と異なる)。詞書は東博本と異なる独自のもの。
第31紙	37.2cm	32	熊を飼置図	○	x	※6-2	東博本6-2「熊祭踊図」のクマ檻の絵と近似。
		33	唐太島宝器蔵之図	○	x	※5-2	東博本5-2「ペラシトミカモイ図」の高床蔵の絵と近似。
第32紙	36.6cm	34	シウカルウシ図(エブリコ写生)	○	○	11-5	絵は東博本11-4「アトロウ島夷図」の木に生えるエブリコの絵と近似。詞書は東博本11-5とほぼ同じ(末尾に「唐太島於多し」と加筆)。
第33紙	37.4cm	35	ヲロコ人の図	○	○	x	「ヲロコ人」2人を描いた絵と独自の詞書を記す。
第34紙	37.3cm	36	七月十日唐太島帰帆之節蝦夷海中難風大連陰之図	○	○	x	本資料独自の絵(船が荒波に揉まれる絵)と詞書を記す。
第35紙	26.2cm	37	陸奥国外ヶ浜善知鳥之図	○	○	x	本資料独自の絵(善知鳥)と詞書を記す。
摘 要	<p>【体裁の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的に1枚ないし2枚継いだ料紙に1場面を描写している。継いだ料紙をまたいで描写している場面は少ない。 <p>【内容の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東博本に収録される場面と似た絵・詞書を持つ場面を多数収録するが、本資料独自の場面も多く、『蝦夷島奇観』模写本というよりは、『蝦夷島奇観』の絵と詞書を仮託した別作品と言えるものである。 絵の構図や詞書の内容は、東博本とよく似たものが多い。よくある〈3巻本構成の模写本〉などと比べると、格段に東博本に近い。したがって本資料中に見られる東博本とよく似た場面は、樞丸の自筆本、もしくはそれを忠実に模写した作品から模写していると言える。 収録場面は、国立アイヌ民族博物館所蔵の『唐太島奇覧』(アイヌ博本)とほぼ共通している。本資料に収録され、アイヌ博本に未収録の場面は、場面23の(ヲチュエ図(葬礼図))のみで、その他の場面は全てアイヌ博本に見られる。逆に本資料に見られない場面は10数件ある。 アイヌ博本には、「奇観図模写」「山川賢隆」など『蝦夷島奇観』から模写した場面であることや、山川賢隆独自の絵であることを示す表記が見られるが、本資料にはそのような表現は見られない。 絵は東博本やアイヌ博本よりも細密さやクオリティの面で劣る。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本資料によく似た場面構成を持つ作品として、アイヌ博本のほか、函館市中央図書館所蔵の『唐太島奇覧』、学習院大学史料館保管の『唐太島民俗絵巻』などがある。 <p>【関連文献】</p> <ul style="list-style-type: none"> 佐々木利和「阿部家文書のなかのアイヌ絵」『学習院大学史料館紀要』第10号、1999年 会津若松市研究会編『会津藩第七代藩主松平容衆年譜 付文化五年会津藩蝦夷地出陣関係史料』会津若松市、2006年 						



場面3



場面2



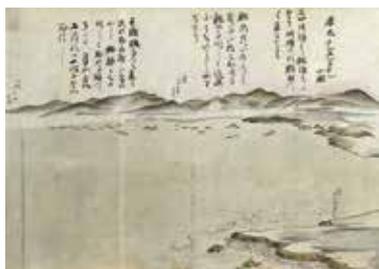
場面1



場面6



場面5



場面4



場面8



場面7



場面11



場面10



場面9



場面14



場面13



場面12



場面17



場面16



場面15



場面20



場面19



場面18



場面22



場面21



場面25



場面24



場面23



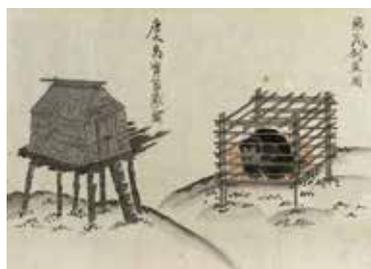
場面29



場面28



場面26



場面33



場面31



場面30



場面37



場面36



場面35



場面34

資料名	北海の奇観		数量	2冊		形態	冊子本		所蔵	國學院大學図書館		所蔵番号	金田一文庫111		調査番号	21			
法量	第1冊：27.4×37.5cm、第2冊：27.4×37.5cm																		
註記	紙本著色、冊子装（五ツ目綴じ・横本）、2冊帙入（付箋「北海の奇観 二冊 111」1枚添付）。 金田一文庫（國學院大学北海道短期大学部保管）。																		
構成	場面番号と画題																		
			絵	詞書	東博本	備考													
第1冊（12丁）																			
表紙																		右上に蔵書ラベル「金田一文庫/111(1)」貼付。題箋なし。	
1オ	見返		(白紙)																「北海の奇観」と墨書。朱方印「御子柴文庫印」あり。
			(題字)																
2オ	1ウ		(白紙)																
	3オ	2ウ	1	緒言		×	○	×											2オ右上に付箋「二」貼付、朱方印「御子柴文庫印」、蔵書印「國學院大學図書館印」あり。 2ウ左下に「三」、3オ左下に「四」と墨書。 3オに年記「明治三十五年六月」署名「御子柴翁識ス」。
4オ	3ウ	2	(序)		×	○		1-1											東博本と似た詞書を記す。年記・署名なし。
		3	(女神窟居説)		×	○		1-6											右上に付箋「六」貼付、右下に「1」と墨書。 東博本と似た詞書を記す。
5オ	4ウ	4	(女神窟居図)		○	×		1-5											台紙に料紙（場面4の絵）貼付。東博本と似た構図の絵。
			(西夷地居家図・家器宝械図の詞書)		×	○		4-3、4-4											右上に付箋「八」貼付、右下に「2」と墨書。 場面5、場面6の詞書を記す。場面5の詞書の上に「二」と朱書、場面6の詞書の上に「一」と朱書。
6オ	5ウ	5	(西夷地居家図)		○	×		4-3											台紙に料紙（場面5の絵）貼付。台紙左下に「九」と墨書。東博本と似た構図の絵。柵に木の枝の描写があり、画面右に木や木幣の描写がないなど、東博本と相異あり。家屋や柵に薄茶色系の着色（東博本は薄緑色系）。
		6	(家器宝械図)		○	×		4-4											台紙に料紙（場面6の絵）貼付。台紙右上に付箋「十」貼付。東博本と似た構図の絵。漆器の文様や描写位置、台上のゴザに模様や着色があるなど、東博本と相異あり。
7オ	6ウ		(男夷図・女夷図の詞書)		×	○		1-7、1-8											台紙左に付箋「十一」貼付。場面7、場面8の詞書を記す。場面8の詞書の下部に「4」と墨書。東博本の詞書の一部と似た詞書を記す。
		7	(男夷図)		○	×		1-7											台紙に料紙2枚（場面7・8の絵）貼付。右の料紙に付箋「十二」貼付。左の料紙の右下に「4」と墨書。ともに東博本と似た構図の絵だが、細部の描写に東博本と相異あり。
		8	(女夷図)		○	×		1-8											
8オ	7ウ	9	(マチコル説)		×	○		3-3											左下に「十三」と墨書。東博本と似た詞書を記す。
		10	(マチコル図)		○	×		3-2											台紙に料紙（場面10の絵）貼付。台紙右に付箋「十四」貼付。東博本と似た構図の絵。ゴザの描写面積が大きいなど、東博本と相異あり。
9オ	8ウ		(熊祭踊図の詞書)		×	○		6-2											台紙に料紙（場面11の詞書）貼付。台紙左下に「十五」、料紙右下に「6」と墨書。東博本と似た詞書を記す。
		11	(熊祭踊図)		○	×		6-2											台紙に料紙（東博本6-2の絵の右側の木幣削りの部分を描いた絵）貼付。台紙右に付箋「十六」貼付、料紙右下に「6」と墨書、「六」と鉛筆書き。
10オ	9ウ		(熊祭花矢射図の詞書)		×	○		6-3											台紙に料紙（東博本6-2の絵の左側のクマ檻のまわりで人びとが踊る部分を描いた絵）貼付。台紙左下に「十七」と墨書。陣羽織、衣服を着た子ども、クマ檻の上に岩の描写があるなど、東博本と相異あり。
			(熊祭花矢射図)		○	×		6-3											台紙に料紙（場面12の詞書）貼付。台紙右に付箋「十八」貼付、料紙左下に「7」と墨書。東博本と似た詞書を記す。
11オ	10ウ	12	(熊祭花矢射図)		○	×		6-3											台紙に料紙（場面12の絵）貼付。左下に「十九」と墨書。東博本と似た構図の絵。陣羽織、衣服を着た子どもの描写など、東博本と相異あり。
			(熊祭挾殺図・熊祭神酒飲図の詞書)		×	○		6-4											右に付箋「廿」貼付。右下に「8」、左下に「9」と墨書。場面13、場面14の詞書を記す。東博本と似た詞書を記す。
12オ	11ウ	13	(熊祭挾殺図)		○	×		6-4											台紙に料紙（場面13の絵）貼付。台紙左下に「廿一」と墨書。大木3本、衣服を着た子どもなど、東博本と相異あり。
			(シャバウベ図・シトキ図の詞書)		×	○		1-9、1-12											右に付箋「廿二」貼付。右下に「9」と墨書。この詞書に対応する料紙（絵）の貼付は本資料中になし。東博本と似た詞書を記す。
裏見返	12ウ	14	(熊祭神酒飲図)		○	×		6-5											左下に「廿三」と墨書。陣羽織、衣服を着た子ども、祭壇に着物を飾るなど、東博本と相異あり。
																			右下に「金田一文庫/昭和五十年七月一日/111(1)」の蔵書印（黒印）あり。
裏表紙																			

第2冊(10丁)						
表紙						
	見返		(白紙)			
1オ						台紙に料紙(場面15の詞書の一部)貼付。台紙右に付箋「廿四」貼付。台紙右上に蔵書印「國學院大學図書館印」あり。場面15の詞書の一部(「蝦夷島の熊五種なり日熊……」)を記す。
2オ	1ウ		(熊祭酒宴図の詞書)	×	○	6-6 左に付箋「廿五」貼付。場面15の詞書の一部(「本草綱目狗條……」)を記す。
	2ウ	15	(熊祭酒宴図)	○	×	6-6 台紙に料紙(場面15の詞書の一部)貼付。台紙右に付箋「廿六」貼付。料紙右下に「10」と墨書。場面15の詞書の一部(「此時は支配人番人を……」)を記す。
3オ			(飲酒図・タフカリ図の詞書)	×	○	3-4、3-5 台紙に料紙(場面15の絵)貼付。料紙左下に「廿七」と墨書。東博本と似た構図の絵を描く。陣羽織、ゴザの文様、画面右の漆器・人物描写などに東博本と相異あり。
	2ウ	15	(熊祭酒宴図)	○	×	6-6 右に付箋「廿八」貼付。左下に「11」と墨書。東博本と似た詞書を記す。
	3ウ	16	(飲酒図)	○	×	3-4 台紙に料紙(場面16の絵)貼付。台紙左に付箋「廿九」貼付、右下に「11」と墨書。東博本と似た構図の絵を描く。細部の描写に東博本と相異あり。
4オ			(タフカリ図)	○	×	3-5 台紙に料紙(場面17の絵)貼付。台紙右に付箋「卅」貼付、右下に「10」と墨書。東博本と似た構図の絵を描く。着物の描写など、細部の描写に東博本と相異あり。
	4ウ		(ヲンカミ図其二(列座)の詞書)	×	○	2-3 台紙に料紙(場面18の詞書)貼付。台紙左下に「卅一」、料紙右下に「12」と墨書。東博本と似た詞書を記す。
5オ			(ヲンカミ図其二(列座))	○	×	2-3 台紙に料紙(場面18の絵)貼付。料紙左下に「卅二」、右下に「13」と墨書。料紙が台紙より右にはみ出し、右端が折り込まれている。東博本と似た構図の絵を描く。陣羽織、ゴザの文様など細部の描写に東博本と相異あり。
	5ウ	19	(ヲンカミ図其四(女夷礼))	○	○	2-5 台紙に料紙(場面19の絵)貼付。台紙左下に「卅三」と墨書。東博本と似た構図の絵を描く。耳金に赤色系の布、着物の文様、腰マキリの有無など東博本と相異あり。
6オ			(ヲンカミ図其三(ウリリ)の詞書)	×	○	2-4 台紙に料紙(場面20の詞書)貼付。台紙右に付箋「卅四」貼付、料紙左下に「15」と墨書。東博本と似た詞書を記す。
	6ウ	20	(ヲンカミ図其三(ウリリ))	○	×	2-4 台紙に料紙(東博本2-4の左部分を描写した絵)貼付。台紙左下に「卅五」と墨書、料紙右下に「15」と墨書。東博本の画面左と似た構図の絵を描く。着物の着色や文様表現などに東博本と相異あり。
7オ						台紙に料紙(東博本2-4の右部分を描写した絵)貼付。台紙右に付箋「卅六」貼付。東博本の画面右と似た構図の絵を描く。着物の文様表現などに東博本と相異あり。
	7ウ		(ニヨエン図の詞書)	×	○	3-10 台紙に料紙(場面21の詞書)貼付。台紙左下に「卅七」、料紙右下に「16」と墨書。東博本と似た詞書を記す。
8オ			(ニヨエン図)	○	×	3-10 台紙に料紙(場面21の絵)貼付。台紙右に付箋「卅八」貼付。東博本と似た構図の絵を描く。細部の描写に東博本と相異あり。
	8ウ		(ウカリ稽古図・ウカリ真行図の詞書)	×	○	3-8、3-9 台紙左下に「卅九」と墨書。場面22の詞書を記す。東博本と似た詞書。
9オ			(ウカリ真行図)	○	×	3-9 台紙に料紙(場面22の絵)貼付。台紙左下に「四十」、料紙右上に「17」と墨書。東博本と似た構図の絵を描く。細部の描写に東博本と相異あり。
	9ウ	23	(ウカリ稽古図)	○	×	3-8 台紙に料紙(場面23の絵)貼付。台紙左下に「四十一」と墨書。東博本と似た構図の絵を描く。棒で叩かれる男性の背中への毛皮は毛の付いた方を内側に描くなど、細部の描写に東博本と相異あり。
10オ			(サイモン図の詞書)	×	○	3-11 台紙に料紙(場面24の詞書の一部)貼付。台紙右上に付箋「四十二」貼付、料紙左下に「18」と墨書。東博本の詞書の一部(「日本紀応仁天皇……」の部分)のみを記す。
	10ウ	24	(サイモン図)	○	×	3-11 台紙に料紙(場面24の絵)貼付。台紙左下に「四十三」、右下に「1(8欠力)」と墨書。東博本と似た構図の絵を記す。細部の描写に東博本と相異あり。
裏見返						右下に「金田一文庫/昭和五十年七月一日/111(2)」の印あり。
裏表紙						

摘要

【体裁の特徴】
 ・横長の冊子本2冊に、各場面を描いた料紙を貼付して仕立てたものである。ただし、詞書に関しては、台紙に直接墨書したものもある。

【内容の特徴】
 ・絵の構図や詞書の内容は、東博本と似たものが多い。
 ・収録場面は〈3巻本構成の模写本〉と共通するものが多いが、全部の場面を収録しているわけではない。例えば、本資料にはオットセイ猟に関する場面は一切収録されていない。
 ・本資料冒頭に「緒言」として、作製者（御子柴翁）の作製経緯が述べられている。要約すると、アイヌの衰退・減少の現状に直面した作製者が、史学の参考として記録することを目的に、画工にアイヌの「部落」を見せたり、写真を示したりして絵を描かせたが、満足するものを得られなかった。そんな折、偶然、最も巧妙に風俗状態を描写している『蝦夷島奇観』という書に会い、抜粋描写して秘蔵していた。今回、人（芝本君）の勧めによって公にすることとした、とのことである。
 ・絵の細密さやクオリティは、東博本と同等ないしそれ以下である。ただし、東博本とは全くの異筆である。
 ・北海道大学附属図書館所蔵の『蝦夷島奇観』模写本（拙稿（東 2024）で調査番号4として紹介した資料）と絵の筆致、構図、細部の描写などがよく似ている。

【その他】
 ・高倉新一郎『アイヌ研究』（北海道大学生協同組合、1966年）の81頁に本資料と思われるものの説明が次のようにある。「明治三十五年、北海道の教育行政方面に活躍し、北海道を紹介した数種の著述をもつ御柴子五百彦氏が「予北海道ニ入りシヨリ茲ニ二十有余ノ星霜ヲ経タリ。足跡ハ殆ント全道ニ遍ク、又殊ニ土人教育ノ事ニ、就中各地アイヌ部落ニ到、大ニ研究スル所アリ（中略）近年ニ至リ真性ノアイヌ人種甚タ減少ヲ見タルニ至リタルヲ以テ、予今ニ於テ標本トテ「アイヌ」ノ真相実態を画ニシ、史学ノ参考ニ資セント欲シ、画工ヲ伴ヒ親シク部落ヲ見セ、或ハ写真ヲ示シ之ヲ描カシメシモ、一モ満足スルモノヲ得ザリシ。又時ニ大家ト称スルモノノ筆ニナリタルアイヌ画ヲ見ル事アルモ、殆ント滑稽ニ類シ採ルニ足ルモノナク頗ル遺憾トシ」、序文を付して上木しようとした稿本が、金田一博士の所蔵となっている。」



場面8 場面7



場面6



場面5



場面4



場面12



場面11



場面10



場面15



場面14



場面13



場面19



場面18



場面17



場面16



場面22



場面21



場面20



場面24



場面23

謝辞

本稿執筆に際し、竹内隼人さん（国立アイヌ民族博物館）、霜村紀子さん（国立アイヌ民族博物館）、田村将人さん（国立アイヌ民族博物館）、永野正宏さん（文化庁）、高橋久未恵さん（國學院大學北海道短期大学部）、高橋由彦さん（國學院大學北海道短期大学部）に大変お世話になりました。ここにお礼を申し上げます。

付記

本稿は、科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）・基盤研究(C)「『蝦夷島奇観』成立史と写本構造に関する研究—「アイヌ文化成立」言説の探究—」（課題番号：23K00805、研究期間：令和5（2023）～令和9（2027）年度、研究代表者：東俊佑）による研究成果の一つである。

註

- (1) 『国書総目録』や国書データベースなどでは、『蝦夷島奇観』の成立年を1799（寛政11）年としている。これについて、佐々木利和は「本書をこの年の成立と見ることに無理はない」としながらも、「寛政十一年の序文を有する本は現在までのところ管見に入らない。『国書総目録』の記す竜野文庫中の一本は信用しがたい面がある」と、その成立年に疑問が残ることを指摘する（谷澤・佐々木編 1982：232）。
- (2) 秦憶丸（1760-1808）は、絵図の作製を主な生業とする幕府雇の役人である。役人としては「村上島之允」と名乗り、作製した多くの作品には「秦憶丸」と自署している。1760（宝暦10）年に現在の三重県伊勢市で生まれた憶丸は、1798（寛政10）年に幕府の支配勘定・近藤重蔵の蝦夷地調査隊に絵図師・算者として随行して以降、幕府高官の巡視随行に駆り出され、蝦夷地図作製に奔走する。その過程で知り得たアイヌの実情を伝えるために制作したのが『蝦夷島奇観』である。秦憶丸や『蝦夷島奇

観』の詳細については、谷澤尚一・佐々木利和編『秦憶丸自筆 蝦夷島奇観』（谷澤・佐々木編 1982）を参照のこと。また、憶丸の作品については、北海道博物館第5回特別展「アイヌ語地名と北海道」においてその一部が展示された（特別展図録は北海道博物館編『アイヌ語地名と北海道』（北博編 2019））。

- (3) 谷澤尚一は『松浦竹四郎研究会会誌』第3号の巻頭記事「史料をさがし求めて—谷澤尚一会員に聞く—」で「『蝦夷島奇観』の場合でも六十五種類チェックしているんですよ。それだけで十年はかかっているんです。ですから、それらを全部見たので自筆本は三種類しかないということが確認できたんですよ。矢張り見なければわからないですね。」（谷澤 1985：9）と述べている。したがって憶丸の自筆本、写本を含めた総数は65件以上あると想定できる。

引用文献

- 会津編 2006：会津若松市研究会編『会津藩第七代藩主松平容衆年譜 付文化五年会津藩蝦夷地出陣関係史料』会津若松市、2006年
- 東 2024：東俊佑「『蝦夷島奇観』写本の研究（一）」『北海道博物館研究紀要』第9号、2024年
- 故林編 2010：故林昇太郎氏遺作論集刊行会編『アイヌ絵とその周辺—林昇太郎美術史論集—』故林昇太郎氏遺作論集刊行会、2010年
- 財ア編 1994：財団法人アイヌ民族博物館編『描かれた近世アイヌの風俗』財団法人アイヌ民族博物館、1994年
- 佐々木 1999：佐々木利和「阿部家文書のなかのアイヌ絵」『学習院大学史料館紀要』第10号、1999年
- 高倉 1966：高倉新一郎『アイヌ研究』北海道大学生協同組合、1966年
- 谷澤・佐々木編 1982：谷澤尚一・佐々木利和編『秦憶丸自筆 蝦夷島奇観』雄峰社、1982年
- 谷澤 1985：谷澤尚一「史料をさがし求めて—谷澤尚一会員に聞く—」『松浦竹四郎研究会会誌』第3号、1985年
- 北博編 2019：北海道博物館編『アイヌ語地名と北海道（第5回特別展図録）』北海道博物館、2019年

Studies on the Manuscripts of *Ezogashima Kikan*, Part 2

AZUMA Shunsuke

This study reports on an investigation of the manuscript materials of *Ezogashima Kikan*, a collection of drawings created by Hata Awakimaru (also known as Murakami Shimanojo) based on his travels in Ezochi. It is believed that Hata first compiled *Ezogashima Kikan* around 1799, revising and supplementing it several times before its final completion in 1807. The original work has been designated an Important Cultural Property of Japan and is housed in the Tokyo National Museum collection. It is estimated that at least 65 manuscripts of *Ezogashima Kikan* exist, primarily held by various archival institutions in Japan.

This study reports on 10 of these manuscripts, which were examined by the author during the

fiscal years 2023–24. Of these, four are held in the National Ainu Museum collection, two are held by the Japanese government under the jurisdiction of the Agency for Cultural Affairs, and four are housed in the Kokugakuin University Library at Kokugakuin University Hokkaido Junior College.

This study is one of the research outcomes of the MEXT Grants-in-Aid for Scientific Research (KAKENHI) basic research project (C) titled *Studies on the Formation History and Manuscript Structure of "Ezogashima Kikan": Exploring Discourse on 'the Formation of Ainu Culture'* (Project number: 23K00805, research period: fiscal 2023–2027, principal investigator: AZUMA Shunsuke).